

はじめに

岐阜県博物館は、昭和51年5月岐阜県百年公園の中心的施設で、総合博物館として開館した。以来、岐阜県に関わりがある人文、自然についての資料収集・整理・分類・保存、調査研究を重ね、その成果を常設展示、特別展示、資料紹介展示及び関連した講演会、観察会などの諸事業を開催して県民に広く普及を図ってきた。平成7年7月にはマイ・ミュージアム棟が増設されて、マイミュージアムギャラリー他、ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」を始めとして、ハイビジョン静止画制作システムなどの情報機器も整備され「であい楽しい情報ステーション」をキーワードに参加体験機能を持つ博物館として拡充発展してまいりました。

平成10年度の夏の特別展「つつつのかぶとむし」では、カブトムシ雄の角の大小二形の生態行動の違いを、百年公園で調査した結果に基づいて発表し、併せて世界の代表的なカブトムシを展示した。学校の夏休み期間ということもあって多数の親子連れの来館者を得ました。展示期間中に開催した「カブトムシの絵を画こう」およびカブトムシの生体展示も好評でありました。

秋の特別展「能面へのいざない ― 白山山麓から ―」では、岐阜県の神社に古くから伝えられている能面を中心に、全国各地から古面を集めて、様式化される以前の能の世界を探求しようとしたものでした。多方面の協力を得ながら全国の能面愛好家の強い関心と呼ぶ展示とすることが出来ました。関連事業として開催した長滝白山神社の氏子の皆さんによる「延年の舞」の上演は、多くの入館者に感銘を与え、また特別参加として協力を頂いた岐阜工業高等学校電子機械科生徒の制作した能ロボットは、大垣桜高等学校生活文化科衣文化類型の生徒の制作した華麗な能衣装を纏って「井筒」を舞い、多くの方々のほほ笑みと好感を呼んだことは記録に値しました。

資料紹介展「岐阜にゾウのいたころ ― 新生代の地層と化石 ―」、世界の民俗紹介展「INDIA ― 人の暮らしと神々の世界 ―」、博物館共催で開催された岐阜県文化財保護センターの「発掘速報展 ― いにしえの美濃と飛騨 ―」、特別陳列「ふるさとの文化財紹介展 ― 東濃地区 ―」、八回のマイミュージアムギャラリー展示もそれぞれ特色ある展示となつて、幅広く多くの来館者を得て好評でありました。

資料収集では、歌川国芳の木曾街道六十九次の浮世絵、肉食恐竜ティノニクスの複製骨格標本などの購入、オオミツバマツの集積化石の採集、多くの植物や鳥・哺乳動物の標本の寄贈、歴史文化資料の寄託を得て充実を図ることができました。

マルチメディア工房では、今年も講座に参加した高校生の作品が全国ハイビジョン手作りフェスタで審査員特別賞を受賞するなど、十分に活用されました。

平成10年度を通観してみると、学術的に裏付けのある調査研究に基づいた企画展示を大切にしながら、生体展示、実演、アトラクション展示、触擦展示の導入を図り、また「恐竜ゼミナール」「化石作り体験」「七草粥を食べよう」「ハイビジョン静止画作品制作」を始めとして参加体験形の事業も増加して、県民の皆さんが一段と気軽に参加出来る博物館へと転換を進めることが出来ました。

平成11年度には、モンゴル国ゴビ砂漠と手取層群で発見された恐竜化石を扱った夏の特別展「恐竜時代 ― モンゴルと手取層群の恐竜たち ―」、発掘文化財を考古学に基づいて調査研究した成果を発表する秋の特別展「水とまつり ― 古代人の祈り ―」、資料紹介展「井波コレクションとスマイルの世界」、特別陳列「ふるさとの文化財紹介展 ― 飛騨地区 ―」、写真展「自然の中の不思議を知る」、発掘速報展などの企画展を始め、「親子バードカービング教室」「恐竜ナイトツアー」「伝統技術体験 ― 竹籠をつくろう ―」など多彩な、質の高い、楽しく気楽に参加できる事業を多数企画しています。

ここに平成10年度の事業記録と、平成11年度の事業計画の概要を紹介する館報22号を刊行しました。ご高覧いただき、ご指導ご支援賜りますようお願いいたします。

美濃飛騨の自然と文化を未来に継ぐ、であい楽しい博物館

平成11年4月1日

岐阜県博物館長 遠藤 祐 神

目 次

はじめに

I 博物館概要

- 設置目的…………… 3
- 基本的性格と方針 …… 3
- 沿革…………… 4
- 施設・設備…………… 5

II 平成11年度 組織・運営

- 組織…………… 7
- 事業計画…………… 7

III 平成10年度のあゆみ

- 職員…………… 9
- 日誌抄…………… 10
- 岐阜県博物館協議会 …… 10
- 実施事業の概要 …… 11
- 常設展示の入れ替え …… 12
- 特別展
 - 1 「つつつのかぶとむし」 …… 13
 - 2 「能面へのいざない」～白山山麓から～ …… 14
- 資料紹介展
 - 1 「岐阜にゾウのいたころ」 …… 15
 - 2 「世界の民俗資料紹介展」
INDIA～人のくらしと神々の世界～ …… 16
- 特別陳列
 - 「ふるさとの文化財紹介展」～東濃地区～ …… 17
- マイミュージアムギャラリー…………… 18
- (財)岐阜県文化財保護センター速報展…………… 20
- 研究・資料収集活動
 - 自然部門…………… 21
 - 人文部門…………… 25
 - マイ・ミュージアム部門
 - 1 マルチメディア情報センター…………… 27
 - 2 マルチメディア工房…………… 28
- 教育普及活動…………… 29
- 図書資料寄贈者芳名一覧…………… 33
- 利用状況…………… 36
- 博物館関係団体…………… 36

IV 利用案内…………… 38

I 博物館概要

〔設置目的〕

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を公開し、併せて、教育普及活動を行うことにより広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

〔基本的性格と方針〕

1 基本的性格

- ・ 岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集、保管、展示、調査研究およびそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・ 県内外の博物館および相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・ 学校教育・社会教育との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発させるような生涯学習機関とする。
- ・ 「ハイパーハイビジョン風土記」を主とした博物館情報を制作し、マルチメディアシステムによる情報の収集、加工、発信、受信を行い、情報化社会に対応した博物館を目指す。
- ・ 資料の収集および保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

2 基本方針

(1) 資料収集

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と特別展示とする。

常設展示は、総合展示と課題展示とし、それぞれ人文、自然の2部門に分ける。総合展示は、だれにも親しめるよう平易な展示を心掛け、本県の歴史の発展の概要と、自然環境の概要を理解しやすく展示する。課題展示は、内容において、前者よりやや高度なものとする。

特別展示は、特定の企画とテーマを設けて、展示をする。

展示の方法は、(ア)生涯学習の場として、幅広い層に親しめる展示 (イ)資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示 (ウ)各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示 (エ)できる限り実物資料の展示をするが、更に、図表、模型等多種類の資料

も活用 (オ)視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える設備 (カ)明確で分かりやすい解説とする。

展示室の主題と内容は次のとおりである。

○人文展示室1（人文総合展示）

主題「郷土のあゆみ」－原始時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を分かりやすく展示する。

○人文展示室2（人文課題展示）

主題「郷土の民俗と美術工芸」－特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。

○自然展示室1（自然総合展示）

主題「郷土の自然と私たち」－郷土の自然の概要を生態的に分かりやすく展示する。

○自然展示室2（自然課題展示）

主題「郷土のさまざまな自然」－特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。

○特別展示室（特別展示）

特定の企画とテーマを設けて年に数回展示する。

(3) 調査研究

- ・ 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・ 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）

・マイミュージアムギャラリー

個人などによって収集、所蔵されているコレクションを公開展示する。また、生涯学習の成果発表の場など多様な活用を図り、県民文化の交流の拠点とする。

・ハイビジョンホール

ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」により、岐阜県の歴史、文化、産業、自然などをハイビジョンで提供するほか、各種のハイビジョンソフトやハイビジョン放送を放映する。また、マルチメディア情報機器を活用し、各種の講演、研修会等の場とする。

・マルチメディアスタジオ

ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」を一人ひとりが自在に検索し、楽しみながら学習できる場とする。

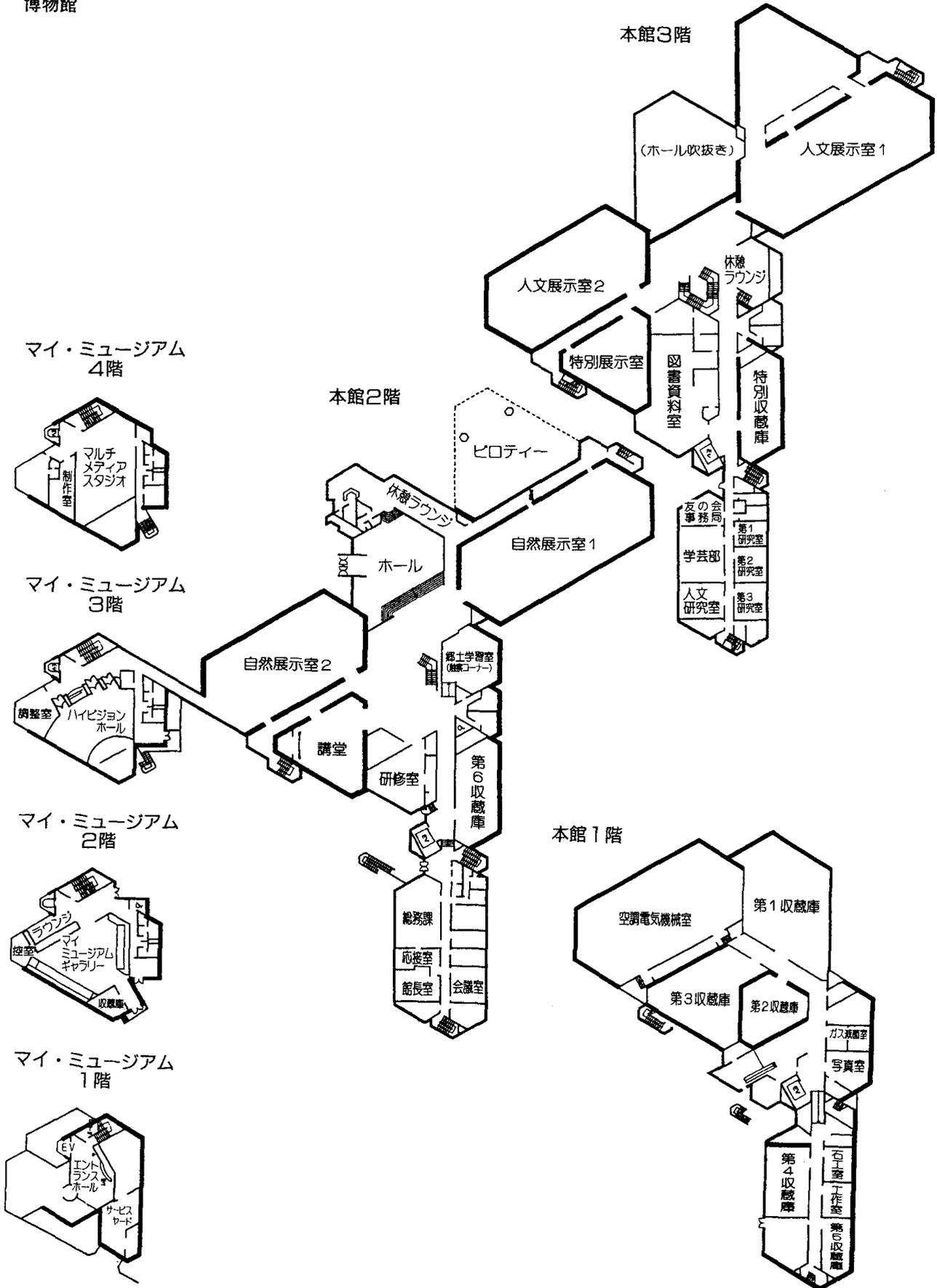
また、マルチメディア機器の利用提供や技術的支援により県民のソフトづくりの工房（マルチメディア工房・ぎふ）としての役割を拡大する。

〔沿革〕

昭和46年 3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	12月	自然展示室Ⅱを改装	平成6年 1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式
4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	昭和61年 4月	特別展「徳山の四季とくらし」	3月	大型は乳類足跡化石を展示
6～9月	博物館懇談会を設ける	7月	特別展「奥飛騨の自然」	4月	特別展「川に生きる－水運と漁労－」
昭和47年 4月	博物館開設準備室を設置	9月	人文展示室Ⅰを改装	8月	恐竜の歯等荘川村で発見
6～9月	博物館懇談会を設ける	10月	開館10周年記念式典を挙げる	9月	特別展「美濃山地の自然」
昭和48年 8月	起工式挙行	昭和62年 4月	特別展「濃飛の弥生時代」	10月	入館者160万人を突破
昭和49年 3月	展示実施計画樹立	7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95）
10月	定礎式	10月	特別展「飛騨の匠」	平成7年 3月	展示化石の借用、交流の推進
昭和50年 3月	展示工事着手	10月	特別展「飛騨の匠」	マイ・ミュージアム棟工事の完成	ハイパーハイビジョン風土記
7月	本館建築竣工	昭和63年 1月	自然展示室Ⅰを改装	「ひだ・みの紀行」美濃路編	ソフト完成
昭和51年 1月	展示工事完了	4月	特別展示室ショーケース改修	4月	特別展「岐阜の淡水魚」
4月	岐阜県博物館条例公布	4月	特別展「ふるさとの湿原」	花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示	
	岐阜県博物館設置	7月	中部未来博'88記念展「中山道－美濃十六宿－」	7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行 一般公開
	展示資料等製作完了	10月	特別展「中生代の化石」	8月	恐竜ゼミナールG I F U'95
5月	開館記念式典挙行 一般公開	平成元年 4月	特別展「濃飛の古墳時代」	10月	特別展「美濃・飛騨の古代史
	「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」	7月	特別展「ふるさとの野鳥」	発掘一律令国家の時代－」	入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催）
7月	皇太子・同妃殿下行啓	8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見	11月	県下第1号として「マルチメディア工房・ぎふ」開設
8月	特別展「ふるさとの文楽」	10月	特別展「移ろいゆく年中行事」	円空シンポジウム「世界における円空」	
10月	入館者10万人を突破	11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける	平成8年 5月	入館者170万人を突破
11月	特別展「熊谷守一展」	平成2年 4月	特別展「輪中と治水」	7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
昭和52年 5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」	7月	特別展「白山の自然」	8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学附属地球科学博物館と友好提携調印式挙行
	入館者20万人を突破	10月	「恐竜足跡化石レプリカ」除幕式	10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」
7月	特別展「郷土の化石展」	11月	グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）	11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」
11月	特別展「鉄斎」	12月	岐阜県博物館協議会から中間答申	講師 作家 阿川弘之氏	作家 山田智彦氏
昭和53年 4月	入館者30万人を突破	平成3年 3月	岐阜県博物館案内標識を設置	平成9年 3月	ハイパーハイビジョン風土記
	特別展「濃飛の甲冑」	4月	特別展「ふるさとの木文化」	「ひだ・みの紀行」中山道	編ソフト完成
7月	特別展「世界のコガネムシ」	7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」	4月	特別展「花と鳥のイリュージョン－江戸の学問と芸術－」
10月	特別展「能面と装束」	10月	置県120年・岐阜県児島姉妹県盟約20周年記念展「鹿兒島－その自然と歴史－」	9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」
昭和54年 4月	入館者40万人を突破	11月	入館者140万人を突破	11月	入館者180万人を突破
	特別展「濃飛の先史時代」	平成4年 3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」諮問	棚橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”－来るべき世紀の新しい博物館を目指して－」財団法人日本博物館協会表彰	
7月	特別展「世界の貝」	4月	特別展「飛騨のあけぼの－交流する縄文・古代人－」	平成10年 3月	ハイパーハイビジョン風土記
10月	特別展「濃飛の文人」	7月	特別展「恐竜王国・恐竜－謎とロマン－」	「ひだ・みの紀行」飛騨街道	・郡上街道編ソフト完成
11月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設	10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」	アロサウルス骨格標本展示	
昭和55年 4月	特別展「室暦治水と薩摩藩」	平成5年 3月	入館者150万人を突破	4月	ハイパービジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
5月	入館者50万人を突破	4月	特別展「土と炎の芸術」	7月	特別展「つものつかぶとむし」
7月	特別展「化石の世界」	9月	29日大型は乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘	9月	特別展「能面へのいざない－白山山麓から－」
10月	特別展「養虫山人」	10月	特別展「失われゆく植物」		
昭和56年 4月	特別展「美濃の絵馬」	11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシミュレーションソフトの完成		
5月	入館者60万人を突破				
7月	特別展「御岳山は生きている」				
10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」				
昭和57年 4月	特別展「高賀山の信仰」				
	入館者70万人を突破				
7月	特別展「ふるさとの植物」				
10月	特別展「東洋の貨幣」				
昭和58年 4月	特別展「岐阜県の考古遺物」				
5月	入館者80万人を突破				
7月	特別展「長良川」				
10月	特別展「郷土の生んだ先覚者」				
昭和59年 4月	特別展「濃飛の戦国武将」				
7月	特別展「ふるさとの昆虫」				
8月	入館者90万人を突破				
10月	学習ビデオスタディコーナー設置				
	特別展「濃飛の蘭学」				
昭和60年 4月	特別展「濃飛の縄文時代」				
7月	特別展「鉱物の世界」				
10月	特別展「美濃の刀剣」				
	入館者100万人を突破				

〔施設・設備〕

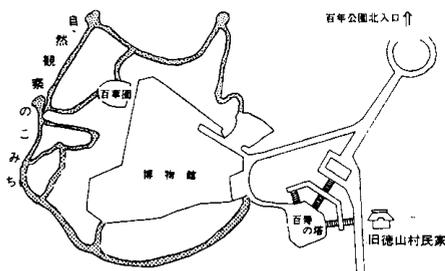
1 博物館



・主要室名及び面積

本館	室名	面積(m ²)	ミュージアム	室名	面積(m ²)
1階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0		2階	ミュージアムギャラリー
	第3収蔵庫	192.0	収蔵庫		25.3
	第4収蔵庫	99.4	制御室		18.5
	第5収蔵庫	55.0	3階	ハイビジョンホール	192.3
自然展示室 I	583.8	調整室		47.0	
2階	自然展示室 II	478.8	4階	マルチメディアスタジオ	206.3
	自然郷土学習室	95.4		制作室	31.2
	講義室	174.5		応接室	43.8
	研修室	93.2			
	第6収蔵庫	142.8			
3階	人文展示室 I	942.2			
	人文展示室 II	478.8			
	特別展示室	193.2			
	図書資料室	232.0			
	特別収蔵庫	142.8			

2 館外施設



(1) 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

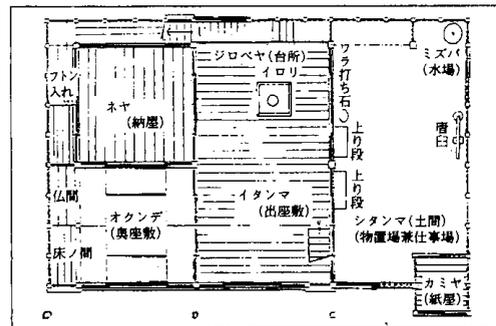
全長約830mで、途中見晴らし台が3ヶ所、万葉集の植物の案内、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、40本の樹木にQ&Aパネルを設置している。

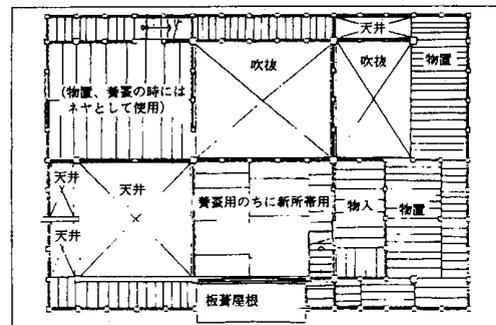
(2) 旧徳山村民家

徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり藤橋村になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料解放している。

- ・様式 木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材 プナ・トチ
- ・建面積 120.97m²
- ・延面積 197.48m²
- ・間取り 下図参照
- ・建築年代 幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根 入母屋、切り落とし窓つき



▲ 1階間取り図



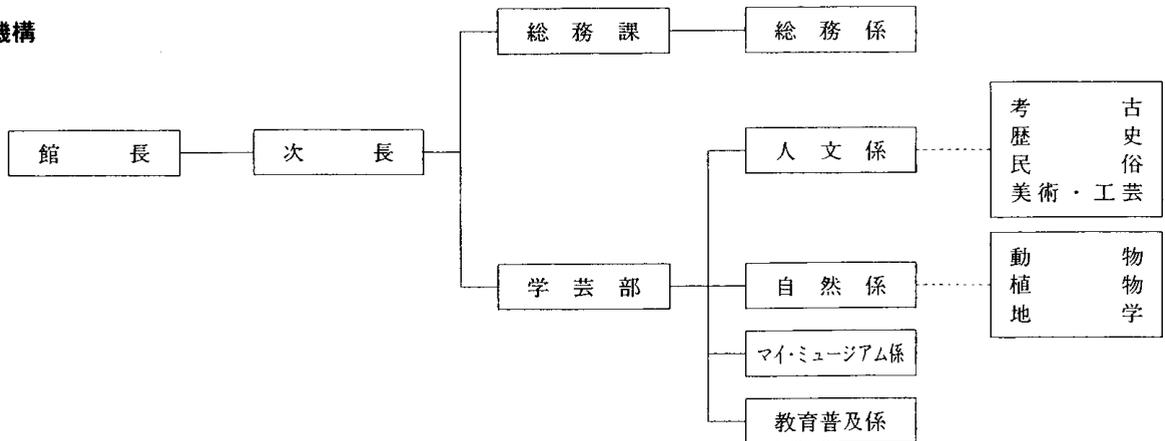
▲ 2階間取り図

II 平成11年度 組織・運営

平成11年4月現在

〔組織〕

1 機構



2 職員

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	遠藤 祐 神	業務嘱託員	佐伯 麻里	課長補佐(植物)	井上 好章
次長兼総務課長 〔総務課〕	伊藤 金 夫	〃	小島 紀美	学芸主事(地学)	安藤 善健
課長補佐兼総務係長	古川 司 郎	〔学芸部〕	平井 江里子	主任(動物)	河野 清一
主査	小池 裕 紀	学芸部長	古川 和 明	学芸嘱託員(地学)	河野 正雄
〃	高橋 昭 人	課長補佐兼人文係長	長嶋 俊之	マイ・ミュージアム係長	浅井 正美
〃	木嶋 祐 子	課長補佐(歴史)	松田 千晴	課長補佐	熊崎 康文
主業務嘱託員	小池 林 夕香	課長補佐(考古)	坂口 浩之	学芸主事	奥村 正彦
〃	池村 る み	(兼)学芸主事(民俗)	青木 靖 浩	課長補佐兼教育普及係長	鎌田 嘉彦
〃	原 麻利子	主事(美術工芸)	岩 佐 伸	(兼)課長補佐	富田 幸四郎
〃	高 橋 紀 枝	課長補佐兼自然係長	鹿 野 勸 一	学芸嘱託員	塚 幹 男

〔事業計画〕

1 展示活動

展示名	期間	主な展示内容
常設展	通年	自然展示室は「郷土の自然とおいたち」と「郷土のさまざまな自然」をテーマに岐阜県の大地ができたようす、郷土の自然とあらし、ふるさとの動物・植物・岩石を展示。人文展示室は「郷土のあゆみ」と「郷土の民俗と美術工芸」をテーマに郷土の原始時代から現在に至る歴史的な遺産や伝統的美術工芸品等を紹介。
資料紹介展 「井波コレクションと スマイルの世界」	4/17(土) ～ 5/23(日)	東海地方の植物を詳細に調査研究されている植物学者：井波一雄氏より寄贈された標本と植物精図を紹介する。併せて、井波氏の標本類をもとにした、岐阜県内に自生するスマイルの複製標本を紹介する。
特別陳列 「ふるさとの文化財紹介展」 ～飛騨地区～	6/5(土) ～ 7/4(日)	日本列島の真ん中に位置する岐阜県には優れた文化財が数多く残されている。誇るべき地元文化遺産をシリーズで紹介するもので、本年度は飛騨地区20市町村の歴史資料や美術工芸品を展示する。
夏季特別展 「恐竜時代」～モンゴルと 手取層群の恐竜たち～	7/16(金) ～ 9/15(水・祝)	モンゴルで発見された恐竜格闘化石やダチョウ恐竜、ヨロイ竜などの恐竜全身骨格と、岐阜県から北陸地方にけて広がる手取層群から発見された恐竜化石や他の重要な化石を展示し、岐阜の恐竜時代を紹介する。
秋季特別展 「水とまつり」 ～古代人の祈り～	10/5(火) ～ 11/23(火・祝)	古来、水はまつりのなかで大事な役割をもっていた。水にかかわる古代の祭祀や信仰のようすを、岐阜県下・東海・近畿地方から出土した土器類、土製品、石製品、木製品などの考古資料をとおして紹介する。
写真展 「自然の中の不思議を知る」 ～第20回SSP展～	12/11(土) ～ 1/9(日)	日本を代表する写真家(日本自然科学写真協会会員)の作品約70点を展示し、動植物・天文・気象・地形・風景・顕微鏡写真などの自然や科学の楽しさ、すばらしさを紹介する。
発掘速報展 「いにしへの美濃と飛騨」	2/16(水) ～3/5(日)	(財)岐阜県文化財保護センターが最近に発掘調査・研究した、美濃と飛騨の遺跡に関する資料を展示し、当時の生活やその背景を紹介する。
マイミュージアムギャラリー		県民の収集・製作してきたコレクションや作品を期間を決めて展示する。(次頁下表参照)

2 平成11年度の教育普及事業

事業名	期日	対象	定員	内容
特別展講演会	7/18	一般	130	モンゴル恐竜最前線
	8/15	一般	130	モンゴル科学アカデミー古生物学センター所長：リンチェン・バルスボルドさん
	11/7	一般	130	手取層群とアジアの恐竜 福井県立博物館総括学芸員：東洋一さん 水と古代王権 同志社大学歴史資料館学芸員：辰巳和宏さん
特別展講演会 文化講演会	10/24	一般	130	水辺の祭祀 三重大学名誉教授：八賀晋さん
記念講演会	2/20	一般	130	鏡にみる美濃の古墳時代 南山大学教授：伊藤秋男さん
博物館講座	5/30	一般(高校生以上)	8	ハイビジョン番組を作ってみよう 1
	6/6	一般	130	自分史を書いてみよう 1
	6/12	一般(高校生以上)	8	ハイビジョン番組を作ってみよう 2
	6/13	一般	130	飛騨地区の文化財紹介
	6/27	一般	130	飛騨に暮らした人々
	7/10	一般(高校生以上)	8	ハイビジョン番組を作ってみよう 3
	8/24	一般(高校生以上)	8	ハイビジョン番組を作ってみよう 4
	8/29	一般	130	自分史を書いてみよう 2
	9/23	一般	130	自分史を書いてみよう 3
	11/21	一般	130	岐阜県の祭祀遺跡
	1/9	一般	130	写真教室 植物写真家：田中達也さん
	1/22	一般(高校生以上)	8	ホームページ制作講座 1
	2/5	一般(高校生以上)	8	ホームページ制作講座 2
	2/26	一般(高校生以上)	8	ホームページ制作講座 3
3/5	一般(高校生以上)	130	マルチメディアとインターネットの現状 国内探訪の旅解説 (予定：5月・9月・11月の3回、日時未定)	
自然観察会	4/25	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう 1
	5/16	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう 2
	6/20	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう 3
	7/18	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう 4
	8/5	一般	30	化石をさがそう 1
	8/15	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう 5
	9/5	一般	30	化石をさがそう 2
	9/19	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう 6
	10/3	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまえよう 7
	1/30	一般	20	百年公園のバードウォッチング 塚原博良さん
たのしい博物館	4/18	一般	20	観察のこみちを歩こう 1
	5/2	一般	30	火起こし器を作ろう
	5/9	一般	20	春の植物の絵を描こう
	5/22	親子(小5以上)	40	親子バードカービング教室 1 野鳥彫刻家：内山春雄さん
	5/23	親子(小5以上)	40	親子バードカービング教室 2 野鳥彫刻家：内山春雄さん
	6/12	一般	20	観察のこみちを歩こう 2
	7/4	一般	40	伝統技術体験～竹籠をつくろう～ 石原文雄さん
	7/10	一般	40	クイズで探検！博物館
	7/11	一般	20	陶芸教室～茶碗をつくろう～(午前の部、午後の部実施) 岡田孝司さん・春海さん
	7/22	一般	30	化石をつくろう 1
	7/24	小学生以上	40	楽しいインターネット～クイズなどなど～
	7/28	一般	30	恐竜ナイトツアー 1 (夜の博物館探検・7/29(木)10:00終了)
	8/7	一般	20	観察のこみちを歩こう 3
	8/14	一般	30	恐竜ナイトツアー 2 (夜の博物館探検・8/15(日)10:00終了)
	8/21	小学生以上	40	マルチメディアで探検！恐竜の世界
	8/26	一般	30	化石をつくろう 2
	9/11	一般	30	化石をつくろう 3
	9/15	女性	40	インターネットで広がる趣味の世界
	9/26	一般	40	クイズで探検！博物館
	10/9	一般	20	観察のこみちを歩こう 4
	10/9	小学生以上	40	マルチメディアで再現！考古の世界
	10/10	一般	40	徳山のくらしを体験しよう
10/31	親子	40	森の造形教室～森にすむ動物をつくろう～ 造形作家：水野政雄さん	
11/27	小学生以上	40	マルチメディアで調べる岐阜の魅力	
12/5	一般	40	やっこ風をつくろう	
12/11	一般	20	観察のこみちを歩こう 5	
12/19	一般	40	わら細上～正月の飾りをつくろう～	
1/6	一般	20	観察のこみちを歩こう 6 (七草ウォッチング)	
2/6	一般	40	昔のくらしを体験しよう	
3/11	一般	20	観察のこみちを歩こう 7	
3/26	一般	40	クイズで探検！博物館	
特別行事	4/29	一般	300	グリーンアドベンチャー (午前の部、午後の部実施)
	5/5	一般	40	響け！和太鼓 岐阜総合学園高校：天地太鼓の皆さん
	11/3	一般	40	百年公園・博物館を写生しよう
	11/13	一般	40	岐阜の化石ゼミナール1 名古屋大学教授：小澤智生さん
	11/14	一般	40	岐阜の化石ゼミナール2 東可児中学校教頭：川合康司さん
	1/7	一般	300	七草がゆを食べよう

3 マイミュージアムギャラリー展示(マイミュージアムギャラリーの展示については出展者の責任で行われます。)

展示期間	出展者	出展内容
4/4～5/5	林賢司	さし絵の世界～大衆に愛された画家たち～
5/11～6/20	内山春雄・井藤一樹・渡部京子	バードカービングの魅力
6/27～8/1	梅竜寺・大龍寺・賑濟寺	白隠墨跡展～美濃に伝わる禅画の美～
8/8～9/19	齋木寛治	クラシカルコレクション～浮世絵・蓄音機・カメラ～
9/26～11/3	柴山定夫・西部良夫・佐藤利光	書画・古陶の美～武者絵・織部・花鳥人物園～
11/14～12/19	山下勝彦・林文造	光と水の美～エッチンググラス・ふるさと岐阜の滝～
1/5～2/6	海外日本人学校派遣岐阜県教師の会	楽しい世界の資料紹介展～南米編～
2/12～3/20	平手勘逸	山頭火の世界～拓本の楽しみ～

Ⅲ 平成10年度のあゆみ

〔職員〕

1 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	高田 晃	〔学芸部〕		学芸主事	熊崎 康文
次長兼総務課長	伊藤 金夫	学芸部長	古川 和明	課長補佐兼教育普及係長	今津 利治
〔総務課〕		課長補佐兼人文係長	長嶋 俊之	(兼) 課長補佐	小倉 裕久
課長補佐兼総務係長	岩田 千恵子	(兼) 課長補佐(民俗)	曾我 孝司	学芸嘱託員	小原 克朗
主査	小池 裕紀	課長補佐(歴史)	松田 千晴	〃	山田 喜三
主任	高橋 昭人	学芸主事(考古)	坂口 浩之		
〃	木嶋祐子(旧加藤)	主事(美術工芸)	岩佐 伸一		
主事	永田 昌	課長補佐兼自然係長	鹿野 勘次		
業務嘱託員	古野村 美保子	課長補佐(植物)	井上 好章		
〃	池村 るみ	学芸主事(地学)	安藤 善之		
〃	市原 麻利子	主事(動物)	説田 健一		
〃	高橋 紀枝	学芸嘱託員(地学)	安井 謙介		
〃	佐伯 麻里	マイ・ミュージアム係長	岩田 正雄		
〃	小島 紀美	課長補佐	浅井 正美		

2 異動

転出	学芸部長	小林 秀臣	転入	学芸部長	古川 和明
	課長補佐兼人文係長	船坂 正夫		課長補佐兼人文係長	長嶋 俊之
	課長補佐兼マイ・ミュージアム係長	岩田 幸作		課長補佐	松田 千晴
	課長補佐	渡邊 育也		主査	小池 裕紀
	(併) 主査	川崎 邦光	昇任	マイ・ミュージアム係長	岩田 正雄
	学芸主事	大澤 洋司		主任	加藤 祐子
	主任	古田 光	新任	業務嘱託員	小島 紀美
退職	学芸嘱託員	田口 方一			
	業務嘱託員	須田 寿子			

3 歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏名
1	昭和51年	小幡 忠良
2	昭和52年～昭和54年	松尾 克美
3	昭和55年～昭和56年	大橋 桃之輔
4	昭和57年～昭和58年	吉本 幹彦
5	昭和59年	関谷 美智男
6	昭和60年～昭和61年	廣田 照夫

	在職期間(年度)	氏名
7	昭和62年～昭和63年	森崎 利光
8	平成元年～平成2年	伊藤 秀幸
9	平成3年～平成4年	篠田 幸男
10	平成5年～平成6年	横山 勢津男
11	平成7年～平成8年	清水 廣美
12	平成9年～平成10年	高田 晃

【日誌抄】

平成10年度

- 4. 1 「岐阜県博物館報」第21号発行
- 1 人事異動に伴う辞令交付
- 5 マイミュージアムギャラリー「郡上八幡三人展ー武具・書画・民謡人形ー」(～5月5日)
- 18 資料紹介展「岐阜にゾウのいたところ」(～5月24日)
- 19 たのしい博物館「徳山の暮らしを体験しよう」
- 24 特別行事「風土記フォーラムーマルチメディアで調べる岐阜の魅力ー」
- たのしい博物館「化石とあそぼう」
- 25 博物館講座「続・古寺を訪ねて1」
- 26 岐阜県博物館友の会総会(福田莞爾氏を会長に選出)
- 29 特別行事「グリーンアドベンチャー」
- 5. 3 特別行事「響け!和太鼓」
- 5 たのしい博物館「クイズで探検!博物館」
- 9 たのしい博物館「化石をつくろう」
- 10 マイミュージアムギャラリー「木彫刻の楽しみ」(～6月14日)
- 11 岐阜県博物館協会通常総会
- 17 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう1」
- 24 たのしい博物館「カブトムシの絵を描こう」
- 31 自然観察会「植物ウォッチングin百年公園」
- 31 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう2」
- 6. 5 資料紹介展「世界の民俗資料紹介展INDIAー人のくらしと神々の世界ー」(～6月28日)
- 7 博物館講座「続・古寺を訪ねて2」
- 11 岐阜県恐竜化石学術調査団結団式
- 13 博物館サポーター研修
- 14 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう3」
- 27 マイミュージアムギャラリー「びっくり算盤展」(～8月2日)
- 7. 7～8 東海地区博物館連絡協議会、日本博物館協会東海支部理事会・総会(於:名古屋市)
- 12 たのしい博物館「陶芸教室・茶碗」
- 13 特別展「つものつかぶとむし」開場式(～9月15日)
- 13 岐阜県博物館協議会

- 19 たのしい博物館「竹細工ー竹でおもちゃをつくろうー」
- 25 たのしい博物館「インターネットで遊ぼうークイズにゲームー」
- 31 特別行事「岐阜県森林文化大学1」
- 8. 1 特別行事「岐阜県森林文化大学2」
- 2 特別展講演会「角の秘密ージャングルの大きなカブトムシー」
- 4 自然観察会「夜のカブトムシを観察しよう」
- 9 博物館講座「歌舞伎ーその創生から現在まで1ー」
- 9 マイミュージアムギャラリー「美濃・関伝日本刀展」(～9月20日)
- 16 たのしい博物館「クイズで探検!博物館」
- 18～19 恐竜ゼミナールGIFU'98 in KAMITAKARA (於:上宝村)
- 22 たのしい博物館「たのしいマルチメディアークイズにチャレンジー」
- 23 自然観察会「植物ウォッチングin板取村」
- 30 たのしい博物館「クイズで探検!博物館」
- 9. 12 たのしい博物館「マルチメディアで探検!恐竜の世界」
- 13 博物館講座「つものつかぶとむし」
- 15 博物館講座「歌舞伎ーその創生から現在まで2ー」
- 20 自然観察会「植物ウォッチングin春日村」
- 27 自然観察会「石ころが語る大地のおいたち」
- 27 マイミュージアムギャラリー「郷土の歴史をかみしめてー一室町から昭和の郷土の文物ー」(～11月3日)
- 28 特別展「能面へのいざないー白山山麓からー」開場式(～11月15日)
- 10. 4 特別講演会「福井・岐阜の能面」
- 11 たのしい博物館「インターネットで広げよう趣味の世界」
- 13 岐阜県博物館マイミュージアムギャラリー企画運営委員会
- 18 特別行事「さこの王国岐阜体験ゼミナール」
- 24 博物館サポーター研修
- 25 特別展上演会「長滝の延年の舞」
- 28～29 東海三県博物館協会交流研修会(於:伊勢市)
- 11. 1 たのしい博物館「紙で恐竜をつくろう」
- 3 森崎利光元館長勲四等瑞宝章受章文

- 化講演会「世界の不思議な植物ギアナ高地・マダガスカルなど」
- 5～6 全国博物館大会(於:水戸市)
- 8 特別行事「百年公園・博物館を写生しよう」
- 14 マイミュージアムギャラリー「ニットコレクション」(～12月20日)
- 15 博物館講座「岐阜県の能面」
- 22 博物館講座「歌舞伎ーその創生から現在まで3ー」
- 28 博物館同人・サポーター研修(於:徳川美術館、産業技術記念館)
- たのしい博物館「微小化石をさぐろう」
- 29 博物館講座「道ばたの植物学入門」
- 12 たのしい博物館「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
- 13 たのしい博物館「やっこ凧をつくろう」
- 20 たのしい博物館「わら細工ー正月の飾りをつくろう」
- 1. 5 マイミュージアムギャラリー「椿づくしー椿をモチーフの絵画・陶器・民具などー」(～2月7日)
- 6 特別行事「春の七草を観察しよう」
- 7 特別行事「七草がゆを食べよう」
- 13 (財)県文化財保護センター出土遺物速報展「いにしへの美濃と飛騨」(～1月31日)
- 17 記念講演会「クニから都へー古代美濃の地域社会ー」
- 23 博物館講座「ホームページ制作講座1」
- 24 博物館講座「濃飛の祭祀遺構と遺物」
- 31 自然観察会「百年公園のバードウォッチング」
- 2. 6 博物館講座「ホームページ制作講座2」
- 11 肉食恐竜ディノニクス骨格標本展示
- 13 博物館講座「ホームページ制作講座3」
- 14 マイミュージアムギャラリー「天神さま土人形」(～3月22日)
- 21 特別陳列「ふるさとの文化財紹介展ー東濃地区ー」(3月31日)
- 27 博物館サポーター研修
- 28 オオミツバマツ球果化石の密集層展示
- 3. 7 博物館講座「東濃地区の文化財紹介」
- 8 岐阜県博物館協会常任理事会
- 14 特別講演会「美を創る」
- 21 博物館講座「進化するインターネット技術」
- 27 歌川国芳の木曾街道浮世絵一揃い展示
- 28 たのしい博物館「クイズで探検!博物館」

当協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応じ、また意見を述べる機関として、岐阜県博物館条例(昭和51年)第2条及び第3条の規定に基づいて設置され、委員は次のとおりである。

氏名	勤務先	現職名
白井 進	関市立倉地小学校	岐阜県小学校長会
小瀬 洋喜	大垣女子短期大学	大垣女子短期大学学長
片桐 武司	学校法人岐阜済美学園	岐阜県私立中学高等学校協会会長
○坂倉 又吉	千代菊(株)	千代菊(株)取締役会長
篠田 薫	かぐや第一幼稚園	学校法人 篠田学園 かぐや第一幼稚園園長
嶋崎 藤雄	岐阜市方県公民館	岐阜県公民館連合会会長
白木 裕治	関市立緑ヶ丘中学校	岐阜県中学校長会
◎土屋 齊	(株)大垣共立銀行	(株)大垣共立銀行取締役名誉会長
福田 莞爾	岐阜県博物館友の会	岐阜県博物館友の会会長
溝下 和子	岐阜県立加納高等学校	岐阜県高等学校長協会副会長
溝脇 昭人	名古屋テレビ放送(株)岐阜支局	名古屋テレビ放送(株)報道部
和田 吉弘	中部女子短期大学	中部女子短期大学副学長

【博物館協議会】

〈開催状況〉

月 日 平成10年 7月13日
場 所 岐阜県博物館 第一会議室
議 事 ・博物館の運営について
一 県立博物館の役割一
・その他

◎会長 ○会長代理 平成11年3月31日現在 五十音別)
ただし、任期は平成10年6月21日～平成12年6月20日

【実施事業の概要】

平成10年度春はハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念として風土記フォーラムを実施した。

夏季の特別展「つのかぶとむし」は多くの子供達が楽しむことができた。秋季特別展「能面へのいざない」も年輩の方々、能面への関心ある人々に来場いただいた。

今年度の事業の特徴のひとつは2つの上演会「響け！和太鼓」と「長滝の延年の舞」の上演である。和太鼓は大垣工業高校の生徒の皆さんに、延年の舞は長滝白山神社の氏子の皆さんの協力を得て行い、催し物として厚みのあるものになった。

特徴のもうひとつは高等学校の皆さんの協力である。和太鼓はもちろん、能ロボットの製作に岐阜工業高校、大垣桜高校の協力を得ることができた。

所蔵資料のデータベース整備や行事・展示内容等で昨年から開いたインターネットによる県民への情報提供を更に充実させた。

1 調査研究活動

人文関係では、水にかかわる古代の祭祀や信仰のようすを岐阜県内をはじめ東海・近畿地方から出土した考古資料をもとに調査研究した。また飛騨地区の文化財を調査した。アントワープ市民族学博物館「円空展」への出展に協力した。

自然関係では、東濃を中心とした植物について調査し資料の収集に努めた。また恐竜化石学術調査団の県内手取層群の調査をし資料収集するとともに、関連するモングルの恐竜化石を調べた。

2 展示活動

下の表に示すように、特別展2回、資料紹介展2回、特別陳列1回、更に（財）岐阜県文化財保護センター主

催で当館共催の発掘速報展が開催された。多くの展示をプレ国民文化祭・第4回岐阜県民俗文化祭としての扱いとした。この他マイミュージアムギャラリーの展示を8回を行った。

展示物の種類・形状・材質などさまざまなものが数多くなり、展示や収蔵・保存において細心の注意と工夫が求められるようになってきた。

3 資料収集活動

人文関係では、街道をテーマに浮世絵や地図を集めた。特に歌川国芳の木曾街道六十九次を揃いで収集できた。

自然関係では、植物学者井波一雄氏の寄贈されたスマレを中心とする植物標本を整理しまとめをすすめた。

また肉食恐竜デイノニクス骨格標本の購入、多治見市でのオオミツバマツ球状化石の密集層を地層ごと切り取り資料として収集することができた。

4 教育普及活動

「たのしい博物館」（20回）等年間60回の講座、観察会等を計画したが、気象条件で自然観察会が1回やむを得ず中止になった以外は開催できた。

近年ハンズオンの考え方がすすむなかで、本館でも多くの行事が参加者の手や体を動かし自ら体験するものが多くなってきた。グリーンアドベンチャー、陶芸教室、竹細工などがある。

特別行事「きのこ王国岐阜体験ゼミナール」は希望者が多く、今年は工夫をしてより多くの方の参加ができた。

「七草がゆを食べよう」や「百年公園、博物館を写真しよう」などは多くの参加者があり、好評を博した。

なお、本年度入館者は昨年度を9,891人上廻る65,648人であった。

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常 設 展	年 間	人文展示室Ⅱの円空のコーナーを中心に、随時、能面、刀剣、陶器等のコーナーの展示替えをした。	—
資料紹介展 「岐阜にゾウのいたころ」 — 新生代の地層と化石 —	4/18～5/24	マンモスの時代よりもはるか昔、新生代第三紀中新世という今から約1800万年前に岐阜にゾウがいたことを化石で紹介するとともに、サイやウマなども展示し当時の環境なども理解しやすい展示をした。	9,187
世界の民俗資料紹介展 「INDIA」 — 人のくらしと 神々の世界 —	6/5～6/28	岐阜県が高山市に建設を進めている「世界民俗文化センター」の資料として、世界各地から集められた木工品を展示した。本年は、インド各地において制作され人々の信仰世界とくらしの中で使われてきた道具を中心に展示をした。	2,694
特別展 「つのかぶとむし」	7/14～9/15	カブトムシは非常によく知られた昆虫であるが、その生態については不明な点も多い。百年公園で実施したカブトムシの調査結果を紹介し、あわせて世界のカブトムシを含む角を持つ甲虫について総合的に展示紹介した。	23,430
特別展 「能面へのいざない」 — 白山山麓から —	9/29～11/15	岐阜県内の白山山麓の神社に残る能面に焦点をあて、それと関連の深い全国各地の能面や世阿弥の直筆状など関連資料もあわせて展示紹介した。	13,116
特別陳列 「ふるさとの文化財紹介展」 ～ 東濃地区 ～	2/21～3/31	県内の文化財をシリーズで紹介する企画展の5年目であり、東濃地区17市町村の特色ある文化財を調査研究し、テーマ別にその成果を絵図などを多く集め69点の資料で紹介した。	3,988
マイミュージアムギャラリー	H10 4/5～ H11 3/22	郡上八幡三人展 (4/5～5/5) 木彫刻の楽しみ (5/10～6/14) びっくり算盤展 (6/27～8/2) 美濃・関伝日本刀展 (8/9～9/20) 郷土の歴史をかみしめて (9/27～11/3) ニットコレクション (11/14～12/20) 椿づくし (1/5～2/7) 天神さま土人形 (2/14～3/22)	—

〔展示の入れ替え〕

人文展示室 2

本年度は、夏期特別展「つものつかぶとむし」、秋季特別展「能面へのいざないー白山山麓からー」を当室で開催したのを機会に、展示ケースの移動等、室内のイメージ替えおよび随時作品の展示替えを行った。

(1) 仏教美術部門

本部門では、当館及び県内の寺院などに収蔵される歴史的、美術的に価値の高い仏像・仏画・仏教用具など(レプリカを含む)を展示した。

日吉山王曼陀羅	江戸時代	当館蔵	
弘法大師画像	江戸時代	当館蔵	
愛染明王画像	室町時代		ほか



弘法大師像 当館蔵

(2) 陶芸部門

本部門は、多治見工業高等学校所蔵の織部を中心に、岐阜市の金華山焼、隣県の犬山焼などを展示した。

織部向付	桃山時代	当館蔵	
織部草花文平茶碗	桃山時代	当館蔵	
織部梅文四方鉢	桃山時代	多治見工業高校蔵	



織部草花文平茶碗 当館蔵

(3) 書画部門

本部門では、地元縁の深い画家、書家、文人の作品をはじめ、日本美術史に名を残す人々の作品を江戸時代のものを中心にテーマを設定して展示した。

〈とのさま芸の世界〉

戸田氏正	一行書「謹而信」	江戸時代
戸田氏彬	老松之図	江戸時代
馬場大助	花卉図	江戸時代

〈美濃文人の作品とその周辺〉

村瀬太乙	赤穂義士図自画賛	江戸時代
江馬細香	養老瀑布図	江戸時代 ほか



馬場大助 花卉図

(4) 刀剣部門

本部門では、美濃の刀剣を中心に展示した。

年間を通じて、太刀や打刀、短刀、槍など各種の刀剣類、あわせて太刀拵、長刀拵、鮫皮等も展示した。また、広く刀剣に関する知識・関心を持てるように刀の製作工程も展示した。

〈主な展示品〉

短刀 銘 兼衡	桃山時代	宮田孝尚氏寄贈
無銘 袋槍	室町時代	当館蔵 ほか

(5) 金工部門

当館には、鏝や小柄をはじめとする刀装具類や古鏡が多く寄託されている。それらのうち、美術的・歴史的に価値のある作品を中心に展示した。

鶴丸文鉄鏝	無銘	江戸時代
柳下小野道風に蛙金象嵌鏝	無銘	江戸時代
老松図毛彫銅鏝	銘 乘意	江戸時代ほか

(6) 円空部門・小企画部門

岐阜県が誇る芸術家・円空の業績を展示した本部門では、彼の遺した仏像(レプリカ)をはじめ、書画および彼を取り扱った歴史資料を展示した。

伴蒿溪	「近世畸人伝」(正・続)	江戸時代
円空	「富士山図」	江戸時代 藤川靖司氏寄贈
円空	「神号軸」	江戸時代 藤川靖司氏寄贈

平成10年度春季特別展

1 展示会名称

「つのはつのかぶとむし」

2 開催期間

平成10年7月14日（火）～9月15日（祝）

3 趣旨

カブトムシは最もポピュラーな昆虫のひとつだが、その生態はあまり知られていない。

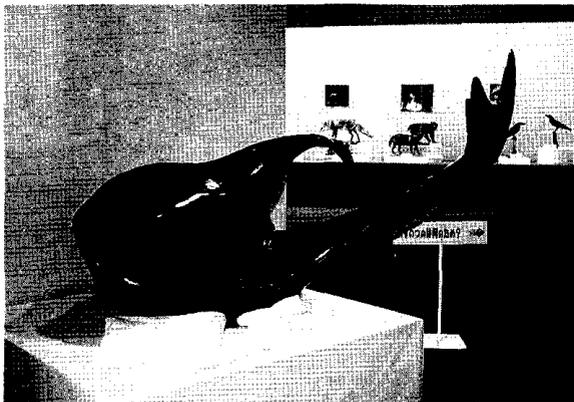
今から、約10年前、シバジョシー博士（イギリス人の昆虫学者）が日本のカブトムシの行動について調べた。彼は日本のカブトムシのオスについて、角の長さが異なる2つの型（大きなオスと小さなオス）が存在することを明らかにした。また、小さなオスは大きなオスより早い時間帯に活動することなど、いくつかたいへん興味深い発見をした。そこで、当館では、カブトムシの大きなオスと小さなオスが、それぞれ、どのような生活をしているのか、さらに詳しく知るために、岐阜大学の方々と一緒に百年公園で観察してきた。

この特別展では、百年公園で実施した調査の結果と、あわせて世界のカブトムシなど角を持つ甲虫を展示することで、カブトムシの意外な暮らしを紹介した。

4 展示内容

(1) つのはつのを調べる

カブトムシの研究史と百年公園で行った調査の結果を紹介した（①オスの角は何のためにあるのだろう、②ウィリアム・ビーベさんの研究、③エバーハード博士の研究、④シバジョシー博士の研究、⑤私たちの研究、⑥オスはたいへん）。

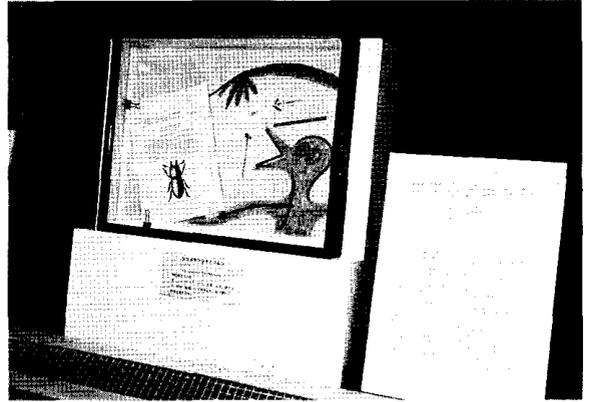


(2) 世界のつのはつ

世界のカブトムシについて紹介した（①カブトムシ族、②ヒナカブトムシ族、③サイカブトムシ族、④クロマルコガネ族、⑤角がないカブトムシ）。

(3) つのはつのはつのはつ

カブトムシ以外でオスが角を持つ甲虫について紹介した（①クワガタムシ、②ハナムグリ・コガネムシ、③ハネカクシ、④ゴミムシダマシ、⑤ツツキノコムシ、⑥カミキリムシ）。



(4) 日本のつのはつ

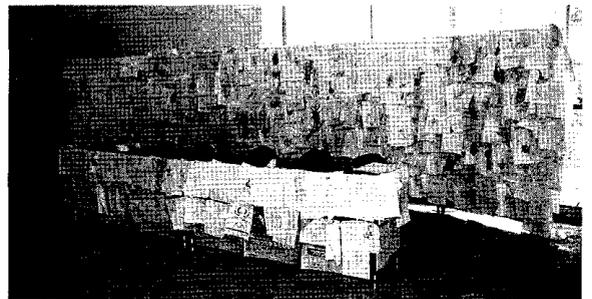
日本に分布する4種のカブトムシ、カブトムシの一生などを紹介した。

(5) 特別展ができるまで

特別展ができるまでの資料を紹介した。

(6) 絵を描こう

本館3階ホール中央に楽しい博物館参加者の作品を展示し、来館者が絵を描けるコーナーを設置した。



(7) 生態展示

本館3Fホールにカブトムシ、日本産のクワガタムシを展示した。

(8) 野外展示

観察の小道に自然観察のガイドパネルを設置した。

<関連事業>

○自然観察会 7/28（雨天中止）

8/4

○たのしい博物館 5/24

○博物館講座 9/13

○特別展講演会 8/2

講師 海野和男氏

（昆虫写真家）

2 特別展「能面へのいざない ～白山山麓から～」

9月29日～11月15日

石川、福井、岐阜の3県にまたがる白山山麓の寺社には神事能や猿楽で使用された古い能面が数多く残されています。これらの中には現在の能楽で使用される能面の原型と思われる面も含まれています。

本特別展では白山山麓のこれらの能面や大和地方の能面、世阿弥関係の資料そして白山信仰関係の資料等約100点を展示しました。これらの資料を通して、日本の独自の文化が生み出した能面のルーツを探り、併せて能楽の魅力も紹介しました。

(展示構成の概要)

能面の様式の変遷を来館者が系統的に、又具体的に伝えることができるよう、大きく5つのコーナーに分けて展示を構成した。

(出展資料)

能面(60点)、能装束(2領)、能楽関連資料(21点)、白山関連資料(10点)、歴史資料(7点)等。



<第一部> 白山山麓の能面

岐阜の白山山麓の寺社で所蔵されている能面と関連資料、及び岩手県平泉の中尊寺の能面を展示することで白山山麓の猿楽について触れた。

<第二部> 能郷白山山麓の能面

岐阜県と福井県にまたがる能郷白山山麓の寺社に所蔵されている能面や関連資料を展示することで越前猿楽の影響について触れた。

<第三部> 大和地方の能面とその影響を受けた能面

大和地方の能面とその影響を受けたと思われる岐阜県内の能面、能装束等を展示することで大和猿楽の特色について触れた。

<第四部> 美濃が舞台となった謡曲とその使用面

岐阜県内が舞台となった謡曲を4曲とりあげ、その後シテで使用される能面を展示することで世阿弥以降の謡曲と様式化された能面について触れた。

<第五部> 能楽関連資料

謡本、世阿弥自筆能本、弘化勸進能図等を展示することで世阿弥以降の能楽の発展の歴史と能楽の魅力について触れた。

<関連事業>

○能ロボットの制作及び展示

岐阜県立岐阜工業高等学校電子機械科生徒によるロボットの制作及び岐阜県立大垣桜高等学校生活文化科生徒による装束の制作の能ロボットの展示を本館3階フロアにて期間中実施した。能ロボットのコンピューター制御による「仕舞」を実施した。

○特別展講演会

10月4日(日)「福井・岐阜の能面」

講師 昭和女子大学教授 後藤淑氏

場所 ハイビジョンホール

* 書画投影装置を利用して実施した。

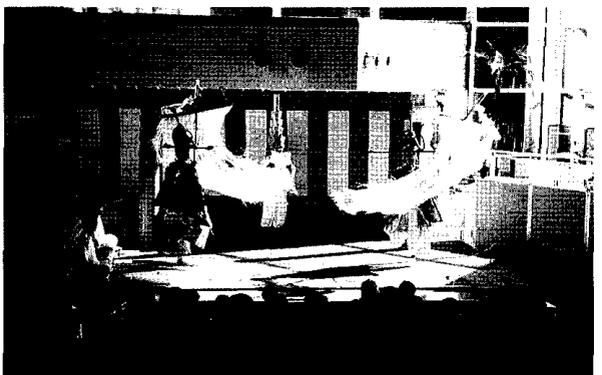


○特別展上演会

10月25日(日)「長滝の延年の舞」

郡上郡白鳥町・長滝白山神社の氏子のみなさん

場所 本館メインホール



○博物館講座

11月15日(日)「岐阜県の能面」

講師 当館学芸員

場所 ハイビジョンホール

* 書画投影装置等を利用して実施した。

○図録「能面へのいざない ～白山山麓から～」

(A 4判76ページ)

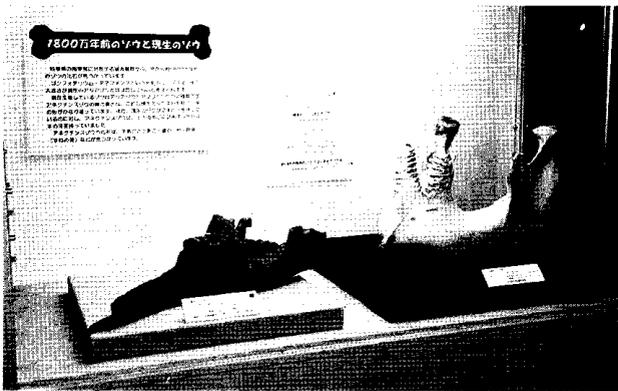
〔資料紹介展〕

岐阜にゾウのいたころ

平成10年4月18日（土）～5月24日（日）

マンモスが生きていたのは今から数万年～2万年前。ナウマン象は約30万年～2万年前のことである。しかし、それよりもはるか昔、今から約1800万年前に岐阜にゾウがいたことが化石からわかっている。新生代新第三紀中新世という時代である。この時代の地層からはゾウの他にも、サイ・バク・ウマ・シカなど多くの哺乳動物の化石が見つかる。この地層は瑞浪層群と呼ばれ、岐阜県可児市～瑞浪市にかけて分布する。また、哺乳動物以外にも多くの植物化石や貝化石・魚類化石などを産出することで知られている。

本資料紹介展では、瑞浪層群から産出する新生代の化石や岩石を展示し、化石や岩石からどんなことがわかるのかを紹介した。



1800万年前のゾウ（ゴンフォテリウム）と現生のゾウ（アジアゾウ）の下あごの比較展示

(1) 新生代のほ乳動物化石と現生の動物たち

瑞浪層群から産出したゾウ・サイ・バク・シカ・ウマなどは哺乳動物の化石を展示した。また、比較のために原生のシカの全身骨格やいろいろな動物の大腿骨・上腕骨・下顎骨を展示した。化石は、動物の骨の一部しか見つからないことが多いが、その骨の大きさや形の特徴から、どんな動物の化石かがわかることを紹介した。



カニサイの大腿骨の化石

(2) 新生代の地層と岩石

瑞浪層群の分布を示し、礫岩・凝灰岩・凝灰質砂岩など瑞浪層群にみられる主な岩石を展示した。また、化石が見つかる岩石と化石を含まない岩石を比較し展示した。



岩石の展示風景

(3) 新生代のいろいろな化石

瑞浪層群から産出した魚類・は虫類・貝類・植物などは哺乳動物以外の化石を展示した。また、瑞浪層群が堆積した当時の海や湖の分布といった古地理や気候など地層や化石からわかる大昔の環境について紹介した。

(4) 化石や岩石にさわろう

実際に化石や岩石に触れ、間近で観察できるように、重さ100kgを越える大きな珪化木や貝化石、化石を含む岩石などを展示した。



化石や岩石にさわるコーナー

<関連事業>

たのしい博物館「化石とあそぼう」4月25日（土）

たのしい博物館「化石をつくろう」5月9日（日）

岩石から化石を掘り出すクリーニング作業や化石のレプリカづくりといった体験型の教室を開催した。終了予定時刻を1時間以上過ぎても作業を続ける親子連れなど熱心な参加者が多く好評だった。

世界の民俗資料紹介展

1 展示会名称

「INDIA 一人のくらしと神々の世界」

2 開催期間

平成10年6月5日（金）～6月28日（日）

3 趣旨

岐阜県博物館では、岐阜県が高山市に整備を進めている「世界民俗文化センター」の開館に先だて、そのコレクションを紹介する企画「世界の民俗資料紹介展 INDIA」を開催した。

古来より「飛騨の匠」に象徴されるように、高山市を中心とする地域では高度な木の文化が栄えた。そのような地に整備されつつある世界民俗文化センターが、「木」にかかわる作品を収集展示することは、飛騨における木の文化を再認識する良い機会となるであろう。

本展示会ではインドから集められたさまざまな木製品を用途別に展示することにより、インドの人々の暮らしを知り、併せて郷土の民俗文化へも関心を寄せていただくことを期待した。

4 展示内容

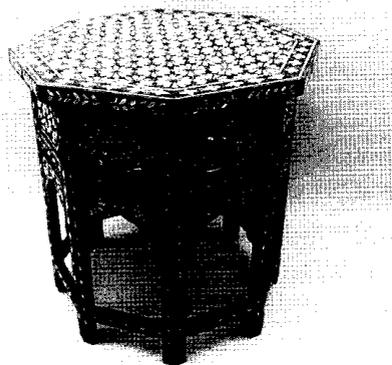
① INDIA ～ すまう

直接床に座ることの多い伝統的なヒンドゥーの生活では家具は少ないことが多い。しかし、16世紀以降のムガル王朝時代以降、イスラム文化の影響を受けた華麗な装飾が施された家具がたくさん作られるようになった。中でも西インド地方で製作されたものは、真珠や真鍮の金具、鏡などがはめ込まれた豪勢な造りのものが多い。

本コーナーでは、そのような家具を中心とした生活用品を陳列した。

<主な展示品>

- ・収納箱 グジャラート州
- ・貴重品筆筒 ラジャスターン州



テーブル ラジャスターン州

② INDIA ～ いのる

「ヒンドゥー」とは、現在のパキスタンを流れるインダス川に由来するペルシャ語で、もとは「インダス川流域の人々」をさす言葉であった。彼らの考え方や社会の規範、文化のあり方などを指す用語としてヨーロッパにおいて「ヒンドゥイズム」と言う言葉が作られ、日本ではそれが訳されて「ヒンドゥ教」といわれている。

インドの人々は、ヒンドゥー教の思想に基づいて多くの神々をかたちにしてきた。それらの神々はたくさんの腕や顔を持ち、人間の形とは違ったイメージを持たせている。

本展ではインドの宗教にかかわる品々、特に寺院に飾られていたレリーフの類を中心に展示した。

<主な展示品>

- ・レリーフ ガネーシャ神 タミルナード州
- ・レリーフ シヴァ神 タミルナード州
- ・レリーフ ダンサー タミルナード州



レリーフ ミュージシャン (部分)

③ INDIA ～ たべる

インドでは宗教や地域、所属する階層によって食文化が大きく異なる。ヒンドゥー教徒の食事は「浄」「不浄」の概念によって決められることが多く、神聖視される牛から生み出される牛乳は「浄」の度合いが高く、積極的に受容されている。

本コーナーでは、主食に次いで重要な位置を占める乳製品の製造具を始め、インドの家庭で使われてきた調理器具の数々を陳列した。

<主な展示品>

- ・バター攪拌器 南インド地方
- ・米入れ 南インド地方
- ・スパイス入れ 南インド地方
- ・ミルクポット ラジャスターン州
- ・香料入れ 南インド地方

〔平成10年度 特別陳列〕

1 展覧会名称

ふるさとの文化財紹介展 ー東濃地区ー

2 開催期間

平成11年2月21日(日)～3月31日(水)

3 趣旨

本館では、県内各地に守り伝えられてきた貴重な文化財を広く県民に紹介し、故郷岐阜県をより深く理解していただくために、県内を岐阜・西濃・美濃・可茂・東濃・飛騨の6つの地区に分け、平成6年度より計画的に「ふるさとの文化財紹介展」と銘打った展覧会を開催してきた。

本年度は5年目にあたり、東濃地区17市町村の各教育委員会のご指導・ご協力をいただき、各市町村から貴重な文化財69点を集めて公開した。

4 展示内容

東濃地区の歴史を概観したとき、同地区が全国的な歴史の動きに位置づく興味深い時期が2つあったととらえた。つまり、東日本と西日本・北陸地方と東海地方という異なる文化の接点となった縄文時代を中心とする古代と、徳川幕府による細分化支配の実施と全国的な地場産業(裏木曾の林業と旧土岐郡の陶磁器産業)の発達が見られた近世である。

この2つの時期を基本的な柱とし、東濃地区の置かれた位置(立場)と東濃人のもつ力強い生命力、そして東濃地区のもつ可能性にふれていただくことを目的として、次のような展示構成とした。

I 大地は古代人からのメッセージ 【古代】

- ① 縄文時代の石器・石製品
- ② 古墳時代の副葬品
- ③ 奈良時代の古代寺院

II 全国に知られた藩主と産業 【近世】

- ① 徳川幕府と東濃の支配
- ② 裏木曾の林業と材木の流送
- ③ 東日本に出荷された焼物

III 新しい時代の到来 【近代】

- ① 東濃の「夜明け前」
- ② 全国に先駆けた電源開発

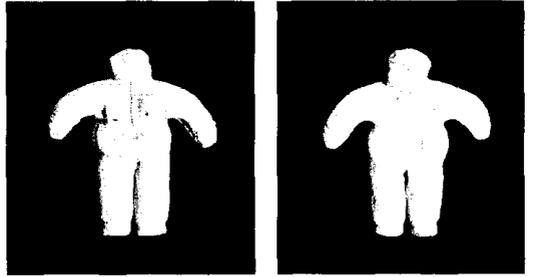
なお、主な展示資料は次のようなものであった。

(1) 古代における文化の交流

縄文時代を中心に、日本列島を舞台に行われた壮大な文化の交流の足跡を石器及び石製品などで紹介した。

- ・縄文草創期～早期にあたるといわれる柵の瑚(はなのこ)遺跡(恵那郡坂下町)出土の石器類
- ・縄文後期～晩期にあたるといわれる下島(したじま)遺跡(恵那郡福岡町)や恵那郡串原村木根(きね)地区出土の異形石器類(用途不明)
- ・縄文後期～晩期にあたるといわれる道下(みちした)

遺跡(恵那郡上矢作町)出土の土偶



道下遺跡出土の土偶(左:表 右:裏)

上矢作町教育委員会蔵

- ・奈良時代の創建といわれる山岡廃寺(恵那郡山岡町)の単弁複弁蓮華文軒丸瓦

(2) 東濃における細分化支配

- ・江戸時代を通じて移封(配置替え)のなかった、全国でも極めてまれな苗木(なえぎ)藩遠山家に関する苗木城絵図・苗木城下町絵図
- ・岩村への移封の際、藩主が信州から持参したと伝えられる「紙本著色三宝荒神図」【県重文】
- ・御三家筆頭尾張徳川家と岩村藩などの入り組んだ支配関係の結果、ささいな問題が深刻化した水論絵図

(3) 近世以前から発達した裏木曾の林業

- ・焼失した江戸城西丸の再建用材を伐り出す様子を描いた絵巻物

※ 江戸後期の東濃を代表する画家・三尾暁峰の筆による、現存最古の材木伐出を描いた絵図

- ・裏木曾から材木を切り出し付知川及び木曾川を流送する技術と様子を描いた掛け軸と絵図集
- ・裏木曾及び木曾の一部の山林を管理した「山守り」(尾張藩の士分)関連掛け軸及び絵図

(4) 東日本を席卷した旧土岐郡の焼き物

- ・江戸時代の主要な窯(かま)であった大川(おおかわ 瑞浪市)東窯や平野(ひらの 多治見市)西窯からの出土品
- ・高級感ただよう伝世(でんせい)の徳利や水滴(すいてき)
- ・東濃で開発された御深井(おふけ)釉を施した神社伝来の狛犬

(5) 明治維新を迎えた東濃を覆う暗雲と希望

- ・島崎藤村の『夜明け前』に記述された木曾と同様、山林資源を明治新政府の財産に編入された裏木曾三カ村における山林の払い下げ嘆願書綴り
- ・岐阜県派遣の農業指導員と恵那郡北部の篤農家による奉納絵馬(農耕の図)
- ・ダム建設以前の蛭川村絵図

5 関連事業

3月7日(日) 博物館講座

「東濃地区の文化財紹介」
当館学芸員 松田 千晴

〔マイミュージアムギャラリー〕

(1) 運営の概要

県民（在住、在勤、ゆかりの人）が収集・所蔵しているコレクションや生涯学習の成果作品を募集し、一定期間、公開展示の場とする。マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって承認された展示計画に従い、順次展示をしていただく。出展者の募集は常時行っている。

(2) 平成10年度の展示状況

回	展示期間	出展者	出展内容
1	平成10年 4月5日(日) ～ 5月5日(祝)	松本 五三 森 吉美 和田 昌三	郡上八幡三人展 【武具・書画・ 民謡人形】
2	5月10日(日) ～ 6月14日(日)	山田 良司	木彫刻の楽しみ
3	6月27日(日) ～ 8月2日(日)	原田 博	びっくり算盤展 【楽しい絵や おもちゃも いっぱい】
4	8月9日(日) ～ 9月20日(日)	関伝日本刀 鍛錬技術 保存会	美濃・関伝 日本刀展
5	9月27日(日) ～ 11月3日(祝)	相宮 功 加納 みさ	郷土の歴史を かみしめて 【室町～昭和の 郷土の文物】
6	11月14日(土) ～ 12月20日(日)	直井 秀幸 浅野 正夫	ニット コレクション 【うねる糸・ 色を編む】
7	平成11年 1月5日(火) ～ 2月7日(日)	入山 憲和	椿づくし 【椿をモチーフの 絵画・陶器・ 民具など】
8	2月14日(日) ～ 3月22日(振)	遠山 一男	天神さま土人形展

(3) 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示リーフレット「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。平成10年度は7年度からの通番で、第23号から第30号まで発行した。

(4) 出展者による解説・講演・実演等の開催

来館者に対して、出展者による展示解説、講演、実演、教室を以下のように開催した。

○第2回「木彫刻の楽しみ」山田良司さん

・木彫り教室

山田良司さんと公民館木彫り教室のみなさん

期日 平成10年5月23日 午前10時～午後3時

場所 マイミュージアムギャラリー内

出展者の山田さんを中心に近くの公民館木彫り教室の皆さんが、バードカービングの制作風景を披露され、来館者の1部にも実際に木彫りの体験をしていただいた。朝から最後まで参加された親子連れや小学生の参加もあり、終始和やかな催しとなった。



○第3回「びっくりそろばん展」原田 博さん
「おもしろい算盤の歴史」講演会

国士舘大学名誉教授 鈴木久男さん

日時 平成10年7月12日 午後1時30分～

場所 マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール

出展者が招いた珠算史研究では第1人者の鈴木氏が講演され、算盤の楽しい歴史や隠れた魅力などの興味深い内容だった。全国から参加者が集まり、盛会であった。



・スタンプラリー／そろばんゲーム大会

日時 平成10年7月12日、20日、26日、8月2日

出展者の原田さんの珠算塾で実施されているそろばんゲームと、博物館見学のためのスタンプラリーを原田さんの企画で実施した。夏休みになると親子連れで賑わい、参加者には大変好評であった。



○第4回「美濃・関伝日本刀展」

・展示解説 刀匠会 藤原兼房さん



○第5回「郷土の歴史をかみしめて」

・展示解説 相宮 功さん

○第6回「ニットコレクション」

・展示解説 直井秀幸さん・浅野正夫さん

○第7回「椿づくし」

・展示解説 入山憲和さん

○第8回「天神さま土人形展」

・展示解説 遠山一男さん



各展示において、出展者自らが積極的に会場内で展示解説を行った。出展者は来館されるたびに展示内容の見所などの解説をし、来館者との交流も深まった。

来館者からも、隠れた話が聞けて大変有意義だったという感想を聞いた。各出展者も、来館者の質問や意見を聞いて大変勉強になったり、視野も広まったり、同好者も増えたりと好評だった。また、今回の展示をきっかけに、他所での展示に発展した出展者もあった。

(5) 博物館同人としての登録

出展者は博物館同人とし、10名と3団体に同人証を発行した。

(6) 平成10年度の出展申し込み

粘土工芸作品、テラコッタの作品、江戸期の書画、明治～昭和の書画、和紙のアート作品、海外日本人学校帰国教師の会の海外コレクション、映画ポスター、中近東の毛織物、小森松溪筆の書画、高麗・李朝の陶磁器など、計10件の申し込みが合った。過去の出展者からの紹介や

県外からの申し込みもあった。

(7) マイミュージアムギャラリー企画運営委員会

○期日 10月13日 ○場所 本館会議室

○議題

<これまでの展示の経過及び次年度の展示計画について>

- ・過去の展示に劣らず、バラエティに富んだ内容で、老若男女を問わず楽しめ、また、生涯学習の作品の展示が増えてきた。ニットや椿などに多数の女性が来館した。県内だけでなく、愛知県をはじめ全国から来館者を集めた。
- ・出展者による実演、催し、展示解説の他、外部講師のによる講演が実施できた。
- ・展示準備、撤収はスムーズに対応できている。
- ・効果的な案内や広報がなされ、毎回のように新聞報道があった。
- ・内容と資料数などを考慮して、出展者と協議しながらよりよい展示を目指すことが大切だ。
- ・引き続き広報、PRを効果的に行う必要がある。

○委員の構成

	氏名	役職
委員	浅野 勇	岐阜県市長会長
〃	糸魚川淳二	名古屋大学名誉教授
〃	岩田 仲雄	会社会長
〃	加藤 郁子	岐阜県地域婦人会連合会会長
〃	嶋崎 藤雄	岐阜県公民館連合会長
〃	清水 廣美	前岐阜県博物館長
〃	辻 欣一	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	中井 勉	岐阜県町村会長
〃	中村 慈	岐阜県議会文教警察委員長
〃	船戸 政一	関市教育長
〃	松本 五三	岐阜県博物館協会理事長
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長

会長は吉田豊氏、副会長は松本五三氏が継続就任。

〔発掘速報展〕

いにしへの美濃と飛騨

平成11年1月13日（水）～1月31日（日）

（財）岐阜県文化財保護センターでは、県内各地において埋蔵文化財の発掘調査を実施しており、埋蔵文化財の普及啓発の一環として毎年速報展を開催し、その成果を広く県民に公開してきた。同センターの発掘事業は、近年の開発の進展にともない、平成8年度には11市町村16遺跡、同9年度には14市町村14遺跡となっている。それぞれの成果をわかりやすくまとめ、速やかに一般に提供する場として、速報展の果たす役割はますます重要になりつつあるといえよう。

本年度の展示では、速報性をより重視し、平成8年度および9年度に調査を行った遺跡から13遺跡をとりあげて展示し、豊かないにしへの郷土の文化を紹介した。

主催は（財）県文化財保護センター、岐阜県民文化祭運営協議会および岐阜県教育委員会であり、当館は、共催という立場で、おもに教育普及面で協力を行った。



<展示構成>

13遺跡を次のように時代に追って展示した。また、体験的な学習のための新しい試みとして、縄文土器、土師器、須恵器、山茶碗の触察コーナーを設けた。

- ①塚奥山遺跡（藤橋村、縄文時代）
- ②細野・梨子谷遺跡（春日村、縄文時代）
- ③小関御祭田遺跡（関ヶ原町、縄文時代）
- ④湯屋遺跡（小坂町、縄文時代）
- ⑤たのもと遺跡（丹生川村、縄文時代）
- ⑥丸山遺跡（丹生川村、縄文時代）
- ⑦沖田遺跡（萩原町、縄文時代）
- ⑧阿多粕遺跡（久々野町、縄文時代）
- ⑨野笹遺跡（美濃加茂市、縄文～中世）
- ⑩砂行遺跡（関市、弥生時代～奈良時代）
- ⑪顔戸南遺跡（御嵩町、古墳時代）
- ⑫南高野古墳（池田町、古墳時代）
- ⑬野上遺跡（関ヶ原町、中世～近世）

<おもな展示内容>

(1) 縄文時代の遺跡

塚奥山遺跡、細野・梨子谷遺跡、小関御祭田遺跡では、縄文土器と各種の石器を展示した。湯屋遺跡では、飛騨地方での出土例が少ない瘡月土器、たのもと・丸山遺跡では、一括出土した土器群や琥珀製の装飾品、阿多粕遺跡では、黒鉛入りの土器片を展示した。野笹遺跡では、土偶や土版を展示した。



(2) 弥生～古墳時代以降の遺跡

砂行遺跡では、破鏡のペンダント、古墳に副葬された鏡、水辺の祭祀に用いられた県内最古級の須恵器などを展示した。顔戸南遺跡では、古墳時代の壙の写真や須恵器・土師器、南高野古墳では、装飾須恵器、馬具、大刀、耳環など保存状態の良好な副葬品を展示した。野上遺跡では、中～近世の陶磁器片などを展示した。

<展示資料数>

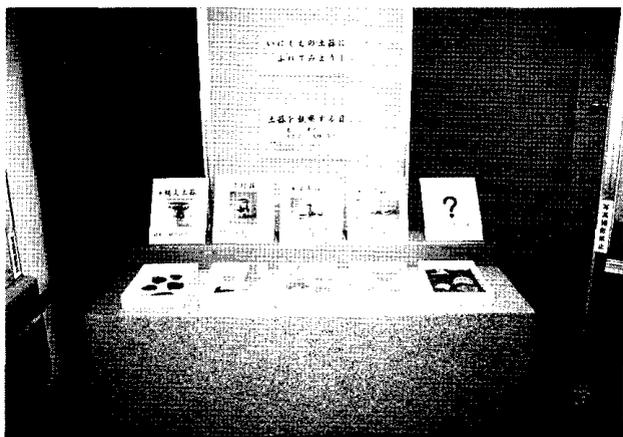
約240点（他に触察用資料28点）

<関連事業>

記念講演会 1月17日（日）

「クニから郡へ～古代美濃・飛騨の地域社会～」

岐阜大学助教授 早川万年氏



〔調査研究・資料収集活動〕

－自然部門－

1 調査研究

<動物分野>

(1) 特別展「つつつのかぶとむし」に係わる調査

①交尾行動の観察

7月下旬から8月上旬にかけて大鋸屑を1cm敷いた10cm×15cm×15cmのプラスチックケース内に雌雄を入れて交尾行動を観察し、交尾前の求愛、マウントから生殖器の挿入まで、生殖器の挿入、交尾後の求愛に要した時間を測定した。供試虫は飼育したものを使用した。大型オスは角の長さが24mm前後、小型オスは12mm前後の個体を使用した。

実験1 処女メスとの交尾実験

大型オスとの交尾実験 (n = 4)

小型オスとの交尾実験 (n = 4)

データが少ないが、大型オスと小型オスの各交尾行動のあいだで、生殖器の挿入時間と交尾後の求愛行動の時間については有意な差が認められ、交尾前の求愛行動とマウントの時間に統計的に有意な差は認められなかった。

実験2 既交尾メスとの交尾実験

大型オスとの交尾実験 (n = 12)

小型オスとの交尾実験 (n = 12)

大型オス、小型オスともに既交尾メス(交尾してから24時間後、48時間後、72時間後)と交尾することができなかった。既交尾メスは後脚でオスの生殖器をける、引き抜くなどの交尾拒否行動を示した。

②論文の投稿

日本昆虫学会第57回大会で口頭発表した内容について、Journal of Ethologyに投稿した。

(2) 関市の雑木林に生息する生物の調査及び資料収集

①博物館建物に追突死した鳥類の収集

平成10年は、アカゲラ、シロハラなどのへい死体を拾得した。



②シュンランの訪花性昆虫について

シュンランの花粉は昆虫によって媒介されると考えられている。しかし、自然状態で結実することは希である

ことが知られている。このことを確認するため、平成10年3月から関市内の雑木林で約160本のシュンランの花茎をマーキングし、開花スケジュール、結実率を調査した。その結果、結実した花茎は1本もなく、調査期間中、訪花昆虫を観察することもできなかった。



<植物分野>

(1) 東濃地方の植物分布調査及び資料収集

恵那市を中心にして東濃地方の植物相の調査を行った。特に本年度は恵那市を中心にして東濃の湿地を調査し、恵那山も部分的に調査した。

特別展示の準備として、できるだけ標本を採集したが個体数が極端に少ない種に限っては、採集しないでスライド等の二次資料にとどめた

①東濃の湿地で確認したもの



ミカワシオガマ (ゴマノハグサ科)

Pedicularis resupinata var. *microphylla*

カキラン(ラン科)*Epipactis thunbergii*

サギソウ(ラン科)*Habenaria radiata*

サクラバハノキ(カバノキ科)*Alnus traveculosa*

センブリ(リンドウ科)*Swertia japonica*

ノハナショウブ(アヤメ科)*Iris ensata* var. *spontanea*

ハナノキ(カエデ科)*Acer pycnanthum*

ハルリンドウ(リンドウ科)*Gentiana thunbergii*

ヘビノボラズ(メギ科)*Berberis sieboldii*

ミズギク(キク科)*Inula ciliaris*

ミヤマウメモドキ(モチノキ科)*Ilex nipponica*

モウセンゴケ(モウセンゴケ科)*Drosera rotundifolia*

レンゲツツジ(ツツシ科)*Rhododendron japonicum*

②ジオラマ作製のための調査

東濃の湿地帯の様子を特別展示で再現するために、代表的な植物を選定し、その形態等を調べた。

イワショウブ(ユリ科)*Tofieldia japonica*

ホザキノミミカキグサ(タヌキモ科)*Utricularia caerulea*

ミミカキグサ(タヌキモ科)*Utricularia bifida*

ミズギボウシ(ユリ科)*Hosta longissima brevifolia*

ヌマガヤ(イネ科)*Moliniopsis japonica*

サワギギョウ(キキョウ科)*Lobelia sessilifolia*



シラタマホシクサ(ホシクサ科)
Eriocaulon nudicuspe

③恵那山で確認したもの

恵那山の神坂峠側と黒井沢側の両側から調査し、標本を採集した。湿地と同様に個体数が極端に少ない種は二次資料にとどめた。

アケボノソウ(リンドウ科)*Swertia bimaculata*

イチヨウラン(ラン科)*Dactylostalix ringens*

ウスゲタマブキ(キク科)*Cacalia farfaraefolia*

コウモリソウ(キク科)*Cacalia maximowitzi*

クロクモソウ(ユキノシタ科)*Saxifraga fusca var. kikubuki*

ササバギンラン(ラン科)*Cephalanthera longibracteata*

タマガワホトトギス(ユリ科)*Tricyrtis latifolia*

テバコワラビ(メシタ科)*Athyrium atkinsonii*

ハスノハイチゴ(バラ科)*Rubus peltatus*

ハルナユキザサ(ユリ科)*Smilacina robusta*

フクオウソウ(キク科)*Prenanthes acerifolia*

メタカラコウ(キク科)*Ligularia stenocephala*

ヤシャビシヤク(ユキノシタ科)*Ribes ambiguum*



オオヤマレンゲ(モクレン科)
Magnolia sieboldii ssp *japonica*

<地学分野>

(1) オオミツバマツ球果化石の調査及び資料収集

岐阜県多治見市の土岐口陶土層から発見されたオオミツバマツ球果化石の密集層を切り取り、保存処理を行った。また、切り取った密集層周辺の地質を調査し、柱状図を作成すると共に、フジイマツ球果・ミキカリアクルミ内果皮・フウ果実・イヌマンサク種子などの植物化石を採集した。この調査の成果は「岐阜県博物館調査研究報告」第20号に発表した。



オオミツバマツ球果化石

(2) 貝形虫化石の調査・資料収集

瑞浪市の瑞浪層群を調査し、貝形虫の化石を多く含む砂岩を採集した。この砂岩中からは以下に示す貝形虫化石が確認された。また、この資料はたのしい博物館「微化石をさぐる」でも利用した。

- ・ *Bairdoppilata itoigawai*
- ・ *Pontocythere subjaponica*
- ・ *Trachyleberis mizunamiensis*
- ・ *Aurila akumurai*

(3) 恐竜足跡の調査

神岡町横山の高原川で恐竜の足跡化石と考えられる岩石を発見し採集した。また、周辺の地質調査を行った。この調査・研究の詳細は「岐阜県博物館調査研究報告」第20号に発表した。



恐竜足跡化石

(4) 岐阜県恐竜化石学術調査団（大黒谷地域）

①調査の経緯

平成元年に岐阜県白川村で恐竜足跡化石が発見されたことを契機に、手取層群の総合的な学術調査が実施され、新たな恐竜化石の発見、恐竜化石と共存する化石の調査、手取層群の地質調査、年代測定など多方面にわたる調査・研究が進められてきた。一方で、堆積学的な研究はまだ少なく、堆積環境については不明な点が多く残されている。今年度は、荘川村大黒谷地域の手取層群の地質について、岐阜県恐竜化石学術調査推進委員会（1993）のデータをもとにさらに詳細に調査し、新たに得られたデータを加えて柱状図を作成し、その堆積環境の解析を行った。

②平成10年度の現地調査

平成10年度の現地調査は、7月24日～7月27日、8月21日～8月23日の2回、実日数で7日間にわたり、延べ79人で行った。7月25日には信州大学理学部保柳康一助教授を講師に迎え、堆積相解析の研究会を行った。

野外調査結果は、10月22日に全員で検討し、その後は各担当ごとでまとめの作業を進めた。調査研究報告書の作成は12～1月にかけ、調査研究指導者の指導を受けて行った。

現地調査とは別に、室内作業として過去の収集資料も含めた採集化石の整理及びクリーニングを岐阜県博物館で行った。室内作業は11月に4日間、延べ26人で行った。これらの作業の結果整理された手取層群産の化石は岐阜県博物館第4収蔵庫に保管した。

③調査結果

大黒谷地域に分布する手取層群は下位から、大谷山累層・大黒谷累層・アマゴ谷累層に区分され、これらは整合に重なる。調査結果から明らかになった各累層の岩相と堆積環境は以下のとおりである。

大谷山累層は厚い砂岩を主体とする地層で、中粒砂岩相、粗粒砂岩相、砂岩勝ち砂泥互層相で構成され、その間に円礫岩層が挟まれる。砂岩層中には2ヶ所でウェーブリップルが確認された。こうした岩相の構成は、北東側に隣接する松山谷で観察される大谷山累層の岩相とよく類似している。大谷山累層は規模の大きな三角州からその沖合、及びその側方の浅海域と考えられ、河川から大量の土砂が供給され、三角州を形成するとともに、波浪や潮汐流によって沿岸や沖合に堆積して、厚い砂岩層を形成したものと考えられる。また、間欠的に見いだされる粗粒砂岩は、河川の延長にあたる海底谷で堆積したものと推定される。

大黒谷累層には、貝化石密集砂岩相、砂岩勝ち砂岩泥岩互層相、泥岩勝ち砂岩泥岩互層相、黒色泥岩相が主要な構成相である。黒色泥岩相には汽水～海生の貝化石が

多く見つかり、その多くは掃き寄せられた産状を示している。このことから、黒色泥岩相は比較的碎屑物の供給が少ないラグーン的环境が推定される。

また、小規模な上方細粒化の重なりがしばしば認められる。また、部分的に小さな単位で上方粗粒化のサイクルも認められる。脊椎動物化石は、上方に向かって中粒砂岩から泥岩へと変化する上方細粒化の重なりの中の細粒砂岩層から見つかった。このような上方細粒化を示す小サイクルは、比較的小規模な流路の移動に伴って形成されたと考えられる。そこに見られる岩相とその重なり方は、蛇行河川的环境を示唆する。

大黒谷累層では、下部ではラグーン的な要素が大きく、上部では蛇行河川的な要素が大きくなるが、全体としてみると、蛇行河川とラグーンの堆積環境がとなりあって存在する河口域に発達したエスチュアリー環境が推定される。

アマゴ谷累層は、不淘汰砂岩層、中粒砂岩層、砂岩勝ち砂岩泥岩互層、泥岩勝ち砂岩泥岩互層・黒色泥岩層で構成される。この中に上方に向かって中粒砂岩から黒色泥岩へと変化する上方細粒化の小さな重なりが繰り返して認められる。このような小サイクルの中の細粒砂岩から脊椎動物化石が確認されている。このような重なりと岩相の特徴は、先にも述べた様に蛇行河川の堆積システムを示している。また、アマゴ谷累層中の黒色泥岩と砂岩泥岩中の泥岩は動物化石に乏しく、植物片を多く含む。これらは通常には植物が繁茂する湿原であり、洪水時には自然堤防を越え流れ出した碎屑物が堆積する氾濫原の堆積物と考えられる。また、不淘汰で粗粒の堆積物は流路で堆積したものであろう。アマゴ谷累層は、大黒谷よりは上流側に位置する蛇行河川で形成されたと考えられる。

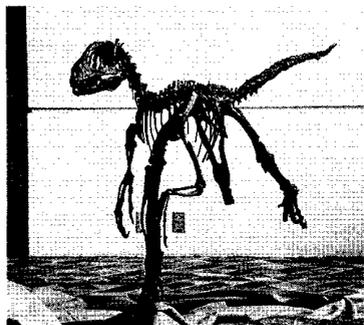


調査風景（大黒）

2 資料数一覧

(平成11年3月31日現在)

分野	館			蔵		借用	寄託	館蔵 借用 寄託	合計
	実物	複製	自作等他	館蔵計	(寄贈内数)				
動物	31,569	16	129	31,714	(17,207)	0	0		31,714
植物	23,827	67	190	24,084	(9,242)	0	0		24,084
岩石鉱物	2,085	5	73	2,163	(543)	18	0		2,181
化石	1,983	39	24	2,046	(1,079)	47	28		2,121
その他	63	22	168	253	(21)	0	0		253
計	59,527	149	584	60,260	(28,092)	65	28		60,353



ディノニクス骨格標本（複製）



東濃の湿地植物ジオラマ（複製）

3 資料寄贈者芳名一覧（敬称略・順不同）

資料名	点数	芳名	資料名	点数	芳名
貝類標本	154	大垣内 宏	希少植物標本	5	吉田 國二
昆虫標本	131	高井 泰	伊自良産植物標本	100	伊自良村教育委員会
コジュケイ	1	河村 良子	坂祝町産植物標本	300	二村延夫・村瀬正成
タヌキ毛皮	1	酒向 容子	シダ植物標本	215	村瀬 正成
カワセミ	1	古市 信明	水生植物標本	20	奥田 佳介
ハクビシン	1	川崎 立夫	希少植物標本	15	福岡 義洋
アオバト	1	庄村 延子	岐阜県産植物標本	44	山崎 玲子
カワセミ	1	横山 神治	富加町産植物標本	1005	後藤 常明
肺魚	1	林 慎也	故山本保雄氏の植物標本	250	山本 孝子
ツマグロヒョウモン	1	井上 健太郎	養老地区植物標本	150	川地 利昭
ホンドテン	1	熊田 国男	故杉野武生氏の植物標本	53	岐阜 高校
ヤマドリ	1	伊藤小麻理	東濃地区植物標本	561	二村 延夫
オオコノハズク	1	伊藤 敦	山東竜骨格模型	1	小林 哲夫
シロハラ	1	川合 康司	中津川の女夫岩資料	2	山内 幹夫
カヤネズミの巣	1	中田 宇元	木の葉化石	1	大平 省司
アライグマ	1	前田 伸	オオミツバマツ化石密集層	1	(匿名希望)
ハイイロマメスズメ	1	近藤 紀己	カメ化石	1	杉浦 友昭
シロハラ	1	古市 信明	鍾乳石	1	梶田 澄雄
昆虫標本	1	宮野 昭彦	ヘリクタイト	4	〃
アライグマ	1	鈴木 功	グロソプテリス植物化石	1	平井 節男

4 購入資料一覧

資料名	点数	購入先	資料名	点数	購入先
ディノニクス全身骨格（複製）	1	ゼネラルサイエンス	ドロアエオサウルス末節骨	1	ゼネラルサイエンス
アロサウルス仙骨	1	〃	スピノサウルス歯	1	〃
カルカロドンサウルス歯	1	〃	東濃の湿地植物ジオラマ	1	岩崎絵研

1 調査研究

<考古分野>

○平成11年度特別展「水とまつり—古代人の祈り」に係わる調査研究

- ① 水に対する信仰の萌芽
- ② 古墳時代の導水施設と水源祭祀
- ③ 水辺のまつり
- ④ まつりの変容—律令祭祀と祓い川
- ⑤ まつりの道具

について文献資料調査や県内及び静岡県、三重県等における現地調査を行った。その成果の一部を博物館講座「濃飛の祭祀遺構と遺物」で発表した。

○岐阜県の文化—美濃飛騨の比較研究—

縄文時代晩期の美濃地方の御物石器について、文献調査や現地調査を行った。その成果の一部を『岐阜県博物館調査研究報告第20号』に発表した。



御物石器（富加町高畑採集）

<歴史分野>

○平成10年度特別陳列「ふるさとの文化財紹介展—東濃地区—」に係わる調査・研究

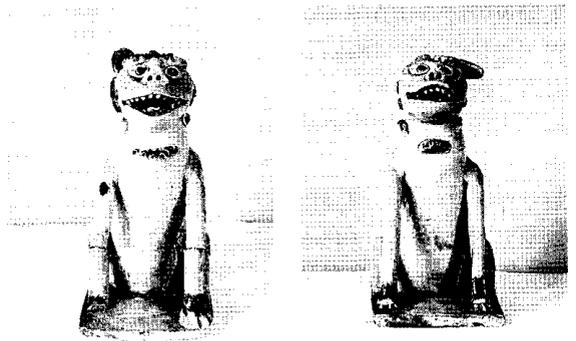
東濃地区17市町村の各教育委員会の指導・協力のもと、同地区の歴史と文化を調査・研究して特色を浮かび上がらせるとともに、その特色を浮き彫りにする文化財を博搜した。

調査・研究に基づき、古代と近世を柱にした同地区の歴史と文化の特色を示す69点の文化財を選定し、平成11年2月21日（日）～3月31日（水）の期間、特別陳列として特別展示室で公開した。

その調査・研究の成果は、16頁のパンフレットにまとめて入館者に配布するとともに、博物館講座「東濃地区の文化財紹介」においても発表した。

○岐阜県の文化—美濃飛騨の比較研究—

明治期の岐阜県及び岐阜県民が、殖産興業に向かって行った取り組みと努力の姿を浮き彫りにするため、当時の記録や現地調査に基づいて概略を明らかにし、その成果の一部を『岐阜県博物館調査研究報告第20号』に発表した。

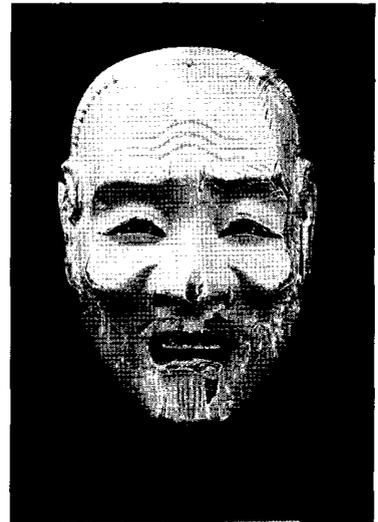


御深井釉狛犬（笠原町 笠原神明宮蔵）

<民俗分野>

○平成10年度秋季特別展「能面へのいざない—白山山麓から—」に係わる調査研究

- ・白山山麓（岐阜県、石川県、福井県）の寺社に所蔵されている能面、能装束、謡本その他の能楽に関する資料
- ・能郷白山山麓（岐阜県、福井県）の寺社に所蔵されている能面
- ・岐阜県郡上郡の長滝白山神社及び岩手県西磐井郡中尊寺で行われている「延年」と「延年」に関連する能面
- ・大和地方の寺社に所蔵されている能面及び能楽関係資料（世阿弥自筆書状、謡本、世阿弥関係書状等）
- ・岐阜県内の祭礼とその祭礼で使用される能面、祭祀道具
- ・謡曲の主題となった岐阜県内の地域とその謡曲で使用される能面
- ・白山信仰に関連する資料
- ・能楽に関連する歴史資料



阿古父尉
春日神社（根尾村神所）蔵

上記の実物資料、文献資料等の調査を現地において実施した。それらの研究成果を、特別展、特別展図録、博

物館講座「岐阜県の能面」で発表するとともに、県内の歴史、民俗学会等の機関誌にも発表した。

また、調査研究との関連で岐阜県郡上郡白鳥町長滝の長滝白山神社「延年」の上演会が岐阜県博物館で実施された。

○岐阜県の文化－美濃飛騨の比較研究－

岐阜県内の各地の寺社で所蔵されている仮面（能・狂言面、雨乞い面等）について現地調査を実施した。

<美術工芸分野>

○世界の民俗資料紹介展「INDIA ～人のくらしと神々の世界」に係わる調査研究

世界民俗センター収集品のうち、インドに係わる資料についての文献調査を行い、それぞれの資料がどのような人々によって、どのような使命を与えられて作られたのかを調べ、展示に役立てた。

○平成11年度特別陳列「ふるさとの文化財紹介展－飛騨地区－」に係わる調査研究

平成6年度から開催している「ふるさとの文化財紹介展」の第6回目となる飛騨地区の文化財を紹介する展示に関する資料の調査を行った。当該の20市町村にある歴史的、美術的に優れた文化財についての製作背景やそのものの持つ価値、伝来などについて、おおよそ次の5項目のいずれかに該当する文化財を重点に調べを進めた。

- ① 住まいとくらし
- ② 折りとまつり
- ③ 行き交うひとびと
- ④ 学問と芸術の世界
- ⑤ いやしの湯

○岐阜県の文化－美濃飛騨の比較研究－

江戸時代後期、現在の瑞浪市に本拠地をすえていた旗本馬場家10代目、馬場大助の本草学的な事績を調査した。特に菩提寺の天猷寺（瑞浪市釜戸町）に所蔵される『詩経物産図譜』に重点を置いた研究を行い、その成果の一部を『岐阜県博物館調査研究報告第20号』に発表した。

2 資料数一覧

分野	館			蔵	借用	寄託	合計
	実物	複製	自作・他				
考古	1,999	164	52	2,215 (1,803)	517	187	2,919
歴史	1,380	34	122	1,536 (1,354)	20	163	1,719
民俗	2,145	2	9	2,156 (2,140)	213	30	2,399
美術・工芸	440	17	37	494 (284)	263	2,018	2,775
その他	0	0	0	0	0	1	1
計	5,964	217	220	6,401 (5,581)	1,013	2,399	9,813

3 資料寄贈者芳名一覧

資料名	点数	芳名
封筒・葉書類	1	松田 千晴
岐阜国体バッヂ類	1	小栗 克彦
「尋常小学読本」等教科書類	1	横山 宗平
木綿製 袴	1	横山 宗平
「S35会員名簿」岐大学芸学部	1	中島 清夫
「M37 岐阜師範学校卒業生 寄せ書き帳」	1	中島 清夫
やんぐりどん人形	1	川田 金之
天秤はかり	1	高島 利次
唐箕	1	渡辺 和雄
立ち繪	1	宮崎 淳
陶製地雷	1	安田 博人
ライン焼	30	安田 博人
銀彩花器	1	大橋 ちか子
献上鮫	1	伊佐地 勉可

4 館蔵資料購入作品一覧

資料名	点数	作者名
日本海山潮陸図	1	石川 流宣
西国三十三所方角	1	
早見道中記	1	
木曾路名所図絵（全7冊）	1	秋里 籬島編
中央日本豪華鳥瞰図	1	
岐阜県（中央日本観光鳥瞰図）	1	
木曾海道六十九次之内河渡	1	溪齋 英泉
〃 御嶽	1	歌川 広重
木曾街道六十九次之内今須	1	歌川 國芳
勸進大相撲土俵入之図	1	歌川 國輝
諸國名所百景 飛騨の籠渡し	1	二代 歌川広重
大角力兩國渡図	1	三代 歌川豊國
勸進大相撲之図	1	三代 歌川豊國
木曾街道六十九次	72	歌川 國芳

〔マルチメディア情報センター〕

＜風土記フォーラム実施＞

4月24日（金） 10:00～15:00

風土記の全街道完成を広く県民に報告するとともに、資料提供等でお世話になった方々に感謝し披露する場として風土記フォーラムを実施した。また、地域の活性化やマルチメディアの普及啓発に向け、講演会を開催し、デジタルアーカイブの意義や活用方法について理解を深め、ハイビジョンや風土記との関わりと博物館での役割を考える機会とした。

（内容）

- ・風土記の概要、操作方法など
- ・風土記「ひだ・みの紀行」の制作に関わって
NHKエンタープライズ21プロデューサー 一色隆司氏
- ・講演会「デジタルアーカイブと地域情報データベースの役割」
静岡大学情報学部 合庭 惇 教授
- ・風土記個別体験

当日参加者は125名、多数の来賓、関係者を迎え盛大に会を催すことができた。風土記の最終的な収録事象数は564（ハイビジョン動画56他）である。

事象の追加など、課題は残しているが平成5年度から5年間にわたって取り組んできた風土記制作はこのフォーラムで終了することとなった。今後多方面での収録素材の活用が望まれる。



＜ハイビジョンホール及びスタジオの活用＞

ハイビジョンホールでは、来館者に向けてのハイパーハイビジョン風土記の紹介やハイビジョン映像の定期上映・博物館講座会場としての利用のほか、外部団体の見学や講習会・イベントなども積極的に受け入れ、そのサポートをしながら多様な活用を図った。

- ・風土記・環境映像・映画・BSハイビジョン等の上映
- ・教員の教科研修会
- ・幼稚園・小中学校課外研修
- ・高校生・大学生の研修、マルチメディア紹介
- ・林政部・県文化財保護センター主催講座等
- ・博物館講座・たのしい博物館 等

マルチメディアスタジオでは、20台の端末を利用し常時風土記映像を閲覧できるようにした（冬季は一部機器休止）。また、各種講座開催時には、CD-ROMの活用やインターネットに接続するなど講座にこれら端末を利用した。

＜マルチメディア情報発信事業＞

昨年度から開始したインターネットによる情報提供について、本年度はさらに情報内容の充実とシステム環境の整備による機能向上を図った。

情報の内容については、

- ・行事や展示紹介の更新
- ・所蔵データベースのデータ追加
- ・過去の企画展や調査研究の一覧の追加

等を随時行う一方、県民情報ネットワークへの記者発表資料登録を進め、県民に向けて、最新情報の提供に努めた。また、ホームページに電子メールの受付け機能を設け、一般の方や各種機関からのリンク依頼、問い合わせ、アンケートなどの対応を行った。

システム整備については、インターネットによる情報収集を通してノウハウを得て、当館の情報サーバに対し、ファイル管理状況の整理のほか、

- ・所蔵データベース検索画面の改良
- ・アクセス数カウント機能の追加
- ・アクセス者の解析機能の追加
- ・電子掲示板の仮設（イベント向け）

等の改良を進めていった。また、インターネット体験用の端末装置についても、「おすすめサイト」登録データの更新・機器整備を随時行い、多くの来館者に情報検索を親しんで頂いた。

＜他施設との連携＞

昨年度発足した、マルチメディア情報センター等産業支援施設や企業・クリエイター・関連団体等を含めた「地域マルチメディアコンテンツ産業支援協議会」の活動として、ホームページの公開や電子メールによる情報交流が行われた。当館もホームページにリンクを張って協議会事業を広く紹介したり、電子メール送受を通して情報の収集や情報提供に関する技術的ノウハウを高めることができた。

また、県生涯学習センターを中心とする「岐阜県社会教育施設情報化・活性化推進事業」にも継続参加して、インターネットによる生涯学習支援に関わる研究・実践を進めていった。

＜長期派遣研修生の受入れ＞

11月から3ヶ月間、関市立関商工高等学校教諭1名の長期派遣研修を受け入れ、ハイビジョンソフトの制作、インターネットホームページの制作、データベースやプレゼンテーションソフト等の操作方法習得など研究を深めて頂いた。研究されたことが学校の現場において活用され、多くの方へのマルチメディア利用促進につながっていくことを期待したい。

＜マルチメディア工房・ぎふ＞

ハイビジョン王国・岐阜づくりの一環として「マルチメディア工房・ぎふ」の第1号として平成7年10月1日にオープンした。県民のマルチメディアソフト制作支援の場として開放してある。

1. 工房の利用について

サポーターの協力を得て以下の内容の活動をした。

①高校生対象のハイビジョンマルチメディア制作講座を5・6月に計3回開催し、高校生10人（関高校7名、関商工高3名）が参加し、作品の制作に取り組んだ。

②上記制作講座以外に関高等学校ハイビジョン同好会が継続的に活動し番組制作に取り組んだ。特に夏休みを中心に活動し、9月の学校の文化祭では県美術館移動ハイビジョンを利用し作品の発表を行ったとのことである。

③サポーターの協力で、マイミュージアムギャラリーの出展者の協力を得て展示作品の番組化とともにデジタルデータとしての保存をしている。今年度、平成8年度展示「紙の美術品」の中の＜教科書＞を制作中である。

④解説員を中心に博物館紹介番組や特別展紹介番組（「つのかぶとむし」）を制作した。

2. ソフトコンテストについて

①H10.11/6第6回全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタのコンテストが大垣市情報工房スィンクホールを会場に開催された。当館からは関高校ハイビジョン同好会の2作品（枕草子外伝、the history of overdose）を応募した。ハイビジョン同好会Aの作品である「枕草子外伝」は、物語を自分たちで考え高校教師の協力の下、古語訳をし、ソフトで制作した絵図だけで表現した作品であったが、高い評価を受け「審査員特別賞」を受賞した。



平成10年度マルチメディア工房制作番組一覧表

①枕草子外伝	7'20"	関高等学校	関高文化系部・放送部・生徒会執行部・国語教諭が原作、古語訳を手がけた協力作。画像は制作装置の「作画」で制作。 (平成10年度全国ハイビジョン手作りソフトフェスタ審査員特別賞受賞)
②the history of overdose	3'38"	関高等学校	関高文化祭参加バンドのCMでメンバーの紹介や特徴を描いた。
③特別展「つのかぶとむし」	5'00"	解説員A	平成10年度特別展「つのかぶとむし」の紹介番組 世界の代表的なカブトムシなどを紹介 (第3回 マルチメディア工房・ぎふ ソフトコンテスト 奨励賞受賞)
④岐阜県博物館紹介	2'30"	解説員B	博物館来館者用紹介番組

②H11.2/21第3回「マルチメディア工房・ぎふ」ソフトコンテストが未来会館で実施された。当館からは解説員制作の2作品を出品した。解説員A制作の「つのかぶとむし」が高い評価を得て、奨励賞を受賞した。

＜マルチメディア研修会＞

学校等の要請により下記の研修会を行い、マルチメディアの普及に努めた。

- ・7/25 名城大学都市情報学部 17名
- ・8/3 東濃実業 教員 5名
- ・10/1 富加小学校 65名
- ・11/7 岐山高校理数科 4クラス (1・2年各2クラス)
- ・2/2 東海女子大学 72名

＜たのしい博物館＞

マルチメディア関連として「マルチメディアで体験！恐竜の世界」など、3回開催した。恐竜など子どもたちに人気のある内容の場合は参加者も多かった。しかし、12月開催の場合などは参加者も少なく期日も含めた内容の検討が必要である。

インターネット関連として、親子を対象にしてクイズやゲームを通して、インターネットに楽しく親しめるものと、女性を対象にインターネットを通して趣味の世界を広げるきっかけになる内容で各1回ずつ開催した。参加者も多く、ホームページによっては当館のコンピュータの能力が追いつかないページもあったが、参加者には好評だった。

＜博物館講座＞

静止画番組制作講座：高校生対象に講座を開催したが、今年度新たに関商工高校生徒（3名）の参加があった。講座が3日間のみでは、作品制作には不十分であり、また、学校行事・試験等の関係で参加できない場合もあった。来年度は開講日を増やす予定である。

ホームページ制作講座：65歳の高齢者や女性の参加者もあった。今年度からホームページ制作のための専用ソフトを導入した。当館のコンピュータに慣れない参加者もあったが、最終的には2名の参加者が作品を当館のサーバーに登録することができた。講座の日のみでは制作時間が足りないので、じっくり取り組める時間を講座と講座の間に設けられるよう、開催日時の検討が必要である。

〔教育普及活動〕

1 概要

岐阜県博物館の活動をより多くの人々に知っていただき、活用していただくために、平成10年度は「ふやしいね、心の宝物」などの博物館キャッチフレーズを刊行物に刷り込んだり、博物館内に掲示したりして事業を展開・推進した。

主な本年度の事業は、特別展（2回）、資料紹介展（2回）、特別陳列（1回）、マイミュージアムギャラリー展示（8回）の他、特別行事・講演会・講座・自然観察会など年間60回の催しものを実施した。その他、ギャラリー出展者が記念講演会・展示説明会・制作実演や展示にちなんだゲーム大会などを自主的に行い、総事業数は80回を超えた。

さらに、春休みと夏休みにはハイビジョンホールでの映画会を企画・実施し、子供たちが気軽に参加しやすい博物館づくりに努力した。

2 教育活動

(1) 催しもの

催しものは、講演会（6回）、上演会（1回）、博物館講座（17回）、自然観察会（6回）、たのしい博物館（20回）、特別行事（10回）など計60であった。

今年度の催しもの主な活動概要は次の通りである。

特別展「つつつのかぶとむし」と「能面へのいざない」の関連事業を各3回実施した。自然観察会「夜のカブトムシを観察しよう」や上演会「長滝の延年の舞」は、特別展への関心が一層高まる内容で、大きなPRとなった。

連続講座として行った「ハイビジョンソフト制作講座」（3回）や「ホームページ制作講座」（3回）は、博物館が持つマルチメディア情報センターとしての機能を生かした内容であった。また、「歌舞伎」（3回）は、日本独特の文化を見つめた内容であった。日本の歴史・文化や自然を今後も取り上げていく事業を実施する必要性を感じた。

特別行事「七草がゆを食べよう」は、大変多くの参加者があった。季節感あふれる古来からの伝統行事への人々の関心が高くなったこと、新聞やテレビで大きく取り上げられたこと、さらには友の会ボランティアの多大なる援助によって博物館の特色ある事業として定着したことが要因であった。

また、平成8年度から上宝村と共催で行った「恐竜ゼミナール」や平成7年度から県林政部と共催した「きのこゼミナール」は、ともに大変好評であったが、「化石の宝庫」・「きのこ王国」岐阜県を全国にPRする役割を果たし、今年度で終了した。百年公園事務所と共催の「写生大会」や高校の協力のもとで実施した「響け！和太鼓」には、多くの方が参加され好評であった。

(2) 館内解説

入館者の希望に応じて、特別展・資料紹介展や常設展

の展示解説を行った。たのしい博物館「インターネットで遊ぼう」や「マルチメディアで探検！恐竜の世界」などでは事業運営や機器使用解説を積極的に行った。また、博物館資料での体験学習で来館した小学生に対して、資料の扱い方や解説を行った。

さらに、博物館展示解説「ワンポイントガイド」や特別展・資料紹介展のクイズを作成し、来館者に配布した。

(3) 博物館における学校等の研修

学校・社会教育機関等の授業や研修を学芸員が指導・援助した。

- ・小中学校体験学習…金竜小・小金田中等の学校・関市小学校生活科研究会等
- ・マルチメディア研修…岐山高校理科科・名城大学・東海女子大学・東濃実業高校教師・県警察学校等
- ・博物館全館研修……岐阜市の子ども育成会・関市社会教育課「少年少女科学教室」・県高教研/公民・地歴部会・各市教頭会・県小社研・羽島郡中理研・岐伯青年親善交流団・岐大留学センター・跡見学園女子大学博物館学芸員課程実習生等

これらの他に、企業のマルチメディア研修や市町村の文化財審議会（人文・自然）の研修等で、学芸員が講話や実習指導をした。

3 広報活動

新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミに対して積極的に働きかけた。特に特別展「つつつのかぶとむし」は新聞社1紙に、特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」は2紙に連載記事が掲載された。資料紹介展「岐阜にぞうのいたころ」や「ふるさとの文化財紹介展～東濃地区～」では1紙に連載記事が掲載された。

また、「ハイパーハイビジョン風土記～ひだ・みの紀行～」の利用の手引きパンフレットも作成し、各関係機関へ配布するなどの広報を行った。

4 博物館実習生指導

近年殆どの大学で博物館課程が設けられたこともあって、博物館実習を希望する大学・学生が多くなり、例年受け入れていた実習生数を大幅に上回った。

9月10日（木）から9月18日（金）までの8日間、東海女子大学（5名）・岐阜女子大学（3名）・岐阜大学（3名）・静岡大学（2名）・滋賀県立大学（2名）・名古屋芸術大学（3名）・名古屋女子大学（1名）・お茶の水大学（1名）・日本福祉大学（1名）・三重大学（1名）・上越教育大学（1名）・金城学院大学（1名）・愛知県立芸術大学（1名）・愛知淑徳大学（1名）の14大学から26名の学生を受け入れ、実習生指導を館長・学芸部長をはじめ、学芸部職員全員で行った。

5 資料の貸し出し

分野	機関名	資料名	期間(年月日)	点数
人	京都府京都文化博物館	中林竹洞	H10・10・2～	1
		青緑山水図	H10・11・10	
文	岐南町民俗資料館	小学国語読本	H10・7・10～	2
		小学国史	H10・7・31	2
自	北日本新聞社	岐阜県の恐竜に関するスライド	H10・4・21～	16
			H10・6・30	
	有限会社 まろうど	業津文楽人形	H10・6・1～	4
			上麻生礫岩写真	
	(株)レゾナンス	岐阜県の動物写真(スライド)	H10・6・1～	11
			H10・6・10	
	岐南町図書館	恐竜関係パネル	H10・6・25～	5
			H10・8・4	
	岐南町図書館	恐竜の歯の化石(レプリカ)植物化石	H10・6・25～	1
			H10・6・4	
岐阜市科学館	岐阜県内産 岩石・化石	H11・2・17～	21	
		H11・3・31		
岐阜県立高山高等学校	昆虫標本	H10・4・10～	7	
		H10・6・9		
岐南町図書館	昆虫標本	H10・7・28～	13	
		H10・9・4		
可児市立蘇南中学校	頭骨標本	H10・5・2～	15	
		H10・5・9		
岐阜市立厚見中学校	頭骨標本	H10・5・10～	17	
		H10・5・19		
県広報課	鳥類・植物のスライド	H10・6・1～	10	
		H10・6・15		
一宮市博物館	動物標本	H10・8・1～	29	
		H10・9・6		

7 刊行物一覧

名	称	発行年月日	判、頁	部数	備考
岐阜県博物館だより	第65号	10. 4. 1	A 4 4頁	2, 500	友の会増刷(500)
岐阜県博物館だより	第66号	10. 7. 1	A 4 4頁	2, 500	友の会増刷(500)
岐阜県博物館だより	第67号	10. 9. 1	A 4 4頁	2, 500	友の会増刷(500)
岐阜県博物館報	第22号	10. 4. 1	A 4 38頁	1, 200	
平成10年度 岐阜県博物館催しもの案内	(A 2判)	10. 4. 1	A 2 3	3, 000	
平成10年度 岐阜県博物館催しもの案内	(A 4判)	10. 4. 1	A 4 3ツ折	30, 000	
博物館リーフレット		10. 4. 1	A 4 8頁	5, 000	
ハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」利用の手引き		11. 3. 31	A 4 3ツ折	5, 000	
岐阜県博物館調査研究報告, Vol.20		11. 3. 31	A 4 46頁	700	
特別展図録	能面へのいざない～白山山麓から～	10. 9. 29	A 4 76頁	600	友の会増刷(1, 100)
特別展図録の増刷	美濃・飛騨の古代史発掘	10. 7. 1	B 5 63頁	0	友の会増刷(1, 000)
	薬草のふるさと伊吹	10. 8. 1	A 4 62頁	0	(800)
特別展等のポスター・ちらし					
つつのかぶとむし	ポスター	10. 7. 3	B 2	2, 000	館で印刷・作成
つつのかぶとむし	ちらし	10. 7. 3	A 4	25, 000	
つつのかぶとむし	リーフレット	10. 7. 3	A 5 20頁	3, 000	
恐竜ゼミナール	ポスター	10. 6. 1	A 2	1, 400	
恐竜ゼミナール	ちらし	10. 6. 1	A 4	13, 000	
能面へのいざない	ポスター	10. 6. 29	B 2	2, 000	
能面へのいざない	ちらし	10. 9. 29	A 4	25, 000	友の会発行
資料紹介展・特別陳列のパンフレット・冊子					
岐阜にゾウのいたところ	ポスター	10. 4. 4	B 2	1, 000	館で印刷・作成
岐阜にゾウのいたところ	ちらし	10. 4. 4	A 4	20, 000	
INDIA	ちらし	10. 6. 5	A 4	10, 000	
ふるさとの文化財紹介展	ポスター	11. 2. 1	B 2	1, 000	
ふるさとの文化財紹介展	ちらし	11. 2. 1	A 4	20, 000	
ふるさとの文化財紹介展	冊子	11. 2. 21	A 4 16頁	4, 000	
マイ・ミュージアム刊行物					
マイ・コレクション第23号		10. 4. 5	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第24号		10. 5. 10	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第25号		10. 6. 27	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第26号		10. 8. 9	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第27号		10. 9. 27	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第28号		10. 11. 14	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第29号		11. 1. 5	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第30号		11. 2. 14	A 4 4頁	1, 000	
マイミュージアムギャラリー	ポスター	10. 4. 1	B 2	1, 000	
マイミュージアムギャラリー	ちらし	10. 4. 1	A 4	10, 000	
マイミュージアムギャラリー	DMハガキ	10. 4. 1	ハガキ	10, 000	

分野	機関名	資料名	期間(年月日)	点数
自然	(財)自然環境研究センター	タカネヒカグ(スライド)	H10・9・9～	1
			H10・9・13	
	垂井町文化会館	昆虫標本	H10・9・22～	12
			H10・9・24	
	岐南町立北小学校	鳥類はく製標本	H10・10・24～	2
			H10・11・7	
	美濃市役所	魚類のパネル	H10・11・4～	20
			H10・11・9	
	笠松町歴史民俗資料館	ウサギのはく製	H10・12・17～	2
			H11・2・17	
	海野和男	カブトムシのスライド	H10・12・25～	68
			H11・1・25	
	中部女子短期大学附属幼稚園	動物標本	H11・2・20～	14
H11・2・24				
御嵩町役場	オオタカのはく製	H11・2・26～	3	
		H11・3・2		
垂井町薬草フェスティバル	薬草の大型標本	H10・8・1～	25	
		H10・8・31		
学習システム研究会	薬草のふるさと伊吹のスライド	H10・4・10～	129	
		H10・4・30		
おおよま恐竜展実行委員会	恐竜の足跡化石	H10・6・25～	1	
		H10・8・4		

6 図書資料

平成10年度現在の図書資料数は、下記の通りである。

	図書資料数 (平成11年3月20日現在)	備考
人文関係	12, 506	含刀剣文庫
自然関係	9, 750	含棚橋文庫・熊田文庫
総計	22, 256	

平成10年度の催しもの結果一覧

事業名	期日	対象	定員	内容	参加人員	
特別展講演会	8/2	一般		角の秘密ージャングルの大きなカブトムシー	126	
	10/4	一般		昆虫写真家 海野 和男さん 福井・岐阜の能面 昭和女子大教授 後藤 淑さん	89	
特別講演会	3/14	一般		美を創る 日本上芸会正会員・美濃陶芸協会副会長 安藤日出武さん	40	
文化講演会	11/3	一般		世界の不思議な植物ーギアナ高地・マダガスカルなどー 進化生物学研究所主任学芸員 湯浅 浩史さん	89	
記念講演会	7/12	一般		おもしろい算盤の歴史 国士館大学名誉教授 鈴木 久男さん	115	
	1/17	一般		「クニ」から「郡」へー古代美濃の地域社会ー 岐阜大学助教授 早川 万年さん	155	
博物館講座	4/26	高校生	8	続・古寺を訪ねて 1	大前 匡昭さん	65
	5/17		8	ハイビジョン番組を作ってみよう 1		8
	5/31	高校生	8	ハイビジョン番組を作ってみよう 2		7
	6/7		8	続・古寺を訪ねて 2	大前 匡昭さん	87
	6/13	高校生	8	ハイビジョン番組を作ってみよう 3		9
	8/9		8	歌舞伎ーその創生から現在までー 1	市川 鐵男さん	43
	9/13	親子	8	歌舞伎ーその創生から現在までー 2	市川 鐵男さん	110
	9/15		8	歌舞伎ーその創生から現在までー 3	市川 鐵男さん	75
	10/18	親子	8	朝日村秋神温泉 朝日村秋神温泉 岐阜市立女子短期大学教授 森 基子さん	小林 繁さん	121
	11/15		8	岐阜県の能面 岐阜市立女子短期大学教授 森 基子さん	森 基子さん	121
	11/22	高校生	30	歌舞伎ーその創生から現在までー 3	市川 鐵男さん	70
	12/6		8	追ばたの植物学入門		17
1/23	高校生	8	ホームページ制作講座 1		18	
1/24		8	濃飛の祭祀遺構と遺物		7	
2/6	高校生	8	ホームページ制作講座 2		29	
2/13		8	ホームページ制作講座 3		7	
3/7	高校生	8	ホームページ制作講座 3		5	
3/21		8	東濃地区の文化財紹介		48	
				進化するインターネット技術	22	
自然観察会	5/31	小学生以上	20	植物ウォッチング in 百年公園(春)		8
	7/28		30	夜のカブトムシを観察しよう 1		中止
	8/4	小学生以上	30	夜のカブトムシを観察しよう 2		53
	8/23		20	植物ウォッチング in 板取村(夏)		14
	9/20	小学生以上	20	植物ウォッチング in 春日村(秋)		34
	9/27		40	石ころが語る大地のおいたち		8
	1/31	小学生以上	40	百年公園のバードウォッチング	塚原 博良さん	39
たのしい博物館	4/19	小学生以上	30	徳山のくらしを体験しよう	宮川 澄雄さん	300
	4/25		30	化石とあそぼう		29
	5/5	小学生以上	30	クイズで探検! 博物館		267
	5/9		30	化石をつくろう		47
	5/24	小学生以上	20	カブトムシの絵を描こう		31
	7/12		35	陶芸教室・茶碗 陶芸家:岡田 孝司・春海さん		34
	7/12	幼児以上	40	そろばん・博物館ゲーム大会		85
	7/19		40	竹細工ー竹でおもちゃをつくろうー	石原 文雄さん	28
	7/20	幼児以上	40	そろばん・博物館ゲーム大会		490
	7/25		40	インターネットで遊ぼうークイズにゲームー		56
	7/26	幼児以上	40	そろばん・博物館ゲーム大会		495
	8/2		40	そろばん・博物館ゲーム大会		665
	8/16	幼児以上	40	クイズで探検! 博物館		463
	8/22		40	たのしいマルチメディアークイズにチャレンジ		41
	8/30	小学生以上	40	クイズで探検! 博物館		325
	9/12		40	マルチメディアークイズで探検! 恐竜の世界		186
	10/10	幼児以上	40	博物館を写生しよう		中止
	10/11		40	インターネットで広げよう趣味の世界		38
	11/1	親子・小学生以上	40	紙で恐竜をつくろう		40
11/29	20		microfossil をつくろう		8	
12/12	小学生以上	40	マルチメディアークイズで調べる岐阜の魅力		6	
12/13		40	やっこ服をつくろう		33	
12/20	親子・小学生以上	40	わら細工「正月の飾りをつくろう」	大野 仁久さん	43	
3/28		40	クイズで探検! 博物館		113	
特別行事	4/24	一般	130	風土記フォーラムーマルチメディアークイズで調べる岐阜の魅力ー 静岡大学教授 合庭 博さん	125	
	4/29	親子	130	グリーンアドベンチャー		148
	5/3		130	響け! 和太鼓 大垣工業高校太鼓部のみなさん		365
	7/31	小学生3年以上	130	岐阜県森林文化大学ー1ー 共催: 県林政部		140
	8/1		130	岐阜県森林文化大学ー2ー 共催: 県林政部		140
	8/18	小学生3年以上	150	恐竜ゼミナールGIFU'98 in KAMITAKARA		18日
	8/19		150	学ぼう! 古生代から中生代の化石ー 東京大学名誉教授 濱田 隆士さん、福井県立博物館主任学芸員 東洋 さん		19日
	10/18	親子・小学生	120	恐竜イラストレーター ヒサキニヒコさん (小中生)188(一般)138(計)		326
	11/8		120	きこの王国岐阜体験ゼミナール 共催: 県林政部		138
	1/6	親子	30	百年公園・博物館を写生しよう		470
1/7	300		春の七草を観察しよう		20	
				七草がゆを食べよう	214	
特別展上演会	10/25	一般		長滝の延年の舞 長滝白山神社氏子のみなさん	161	

事業名	実施期間	主な内容	観覧人員
春休みハイビジョン特別番組の上映	4月1日(水)～5日(日)	・大峡谷400キロ激流筏下り・忍たま乱太郎・未知との遭遇・ジュラシックパーク等を上映	578
	3月25日(木)～31日(水)	・アニメウルトラマンキッズ・世界の自然遺産/屋久島・ジュラシックパーク等を上映	702
夏休みハイビジョン特別番組の上映	7月17日(金)～8月30日(日)	・アニメウルトラマンキッズ・忍たま乱太郎 ・銀河の魚・モニュメントパレー・ジュラシックパーク等を上映	12,360

8 恐竜ゼミナール G I F U ' 9 8 in KAMITAKARA —学ぼう 古生代から中世代の化石—

岐阜県博物館・上宝村共催

(1) 事業の主旨

ア 恐竜・化石・地層などに関する正しい知識を学ぶとともに、恐竜時代に至る化石の夢とロマンを子どもたちに提供する。

イ 全国各地から参加の子どもたちが、奥飛驒の豊かな自然の中でふれ合い、交流を深める。

ウ ゼミナール参加の子どもたちをとおして、正しい情報を広く発信する。

エ 博物館と地域が連携して事業を推進することで、博物館の活動内容を広げるとともに、地域の文化事業を支援しその定着を図る。

(2) 事業の内容

恐竜や化石について基本的な学習をする恐竜・化石セミナーと恐竜イラスト教室、自然観察会・化石の観察会などを2日間にわたって実施した。

①第1日(8月18日・火)

ア 会場 上宝村観光会館

イ 内容

- ・恐竜ゼミナール開講式、
- ・恐竜化石セミナー

「不思議いっぱいの古代生物—恐竜—」

～恐竜の子孫が鳥って本当?～

講師：東京大学名誉教授、放送大学教授、

生命の星・地球博物館館長 濱田隆士氏

「日本と中国の恐竜」

講師：福井県立博物館総括学芸員 東 洋一氏

「どうやって恐竜の姿を復元してきたのか」

講師：恐竜イラストレーター ヒサクニヒコ氏

ウ 参加者 163名



②第2日(8月19日・水)

ア 会場 上宝村観光会館および付近一带

イ 内容

- ・奥飛驒の自然観察会

講師：北アルプス自然文化センター・

大森清孝氏、田和義継氏、上平 尚氏

- ・恐竜化石セミナー

「地球の歴史と岐阜県の化石」

講師：岐阜県博物館 安藤善之、安井謙介

「上宝村福地の化石」 講師：濱田隆士氏

- ・恐竜イラスト教室

講師：恐竜イラストレーター ヒサクニヒコ氏

- ・恐竜ゼミナール閉講式

- ・中生代の化石観察会(クリーニング体験)

講師：岐阜県博物館 鹿野勘次、安藤善之、
安井謙介

ウ 参加者 163名



(3) 事業実施の経過

共催の上宝村(担当：商工観光課)と綿密な連絡を取り合っけて計画・運営に当たった。事業内容全般の準備は博物館が、参加申込や宿泊斡旋などの事務局業務や会場設営については上宝村が担当した。参加者募集や広報活動は両者が分担・協力して行った。

①広報関係

事業実施と参加者募集についての記者資料配布、県関係機関・県内各市町村教育委員会および関係機関、県内全小中学校、愛知県尾張・海部両教育事務所管内小中学校への参加者募集ポスター・チラシの配布を行った。また、岐阜・愛知・三重・富山各県において新聞広告による参加者募集を行った。

②実施状況

上宝村観光会館を主会場とする1泊2日の事業であり、参加者受付や宿泊斡旋をスムーズに行うため、事務局を上宝村役場内とした。宿泊については奥飛驒温泉観光協会、自然観察会では北アルプス自然文化センターの協力をいただいて運営した。

なお、上宝村福地の河原での化石観察会については、群発地震による現地対策本部が設置されている状況下、中止を決定し、雨天時用の「中生代の化石観察会(クリーニング体験)」に変更して実施した。

(4) 今後の方向

上宝村との連携による本事業は、平成7年度より4回実施し、多くの児童生徒の参加を得てきた。恐竜研究における著名な講師陣によるゼミナールは、内外から注目される催しものであった。

運営面の改善を加えながら継続してきたが、上宝村・博物館双方に所期の目的を達成したとの評価があり、今年度をもって終了することとした。

なお、県内の化石産出地毎に学習する催しが計画されており、化石に関する学習の機会を県下各地へ広げるものとして期待される。

〔図書資料寄贈者芳名一覧〕

(平成10年3月1日～
平成11年2月28日) (順序不同)

〔博物館関係〕

国立歴史民俗博物館
東京国立博物館
国立科学博物館
科学技術館
東京国立近代美術館
国立科学博物館附属自然教育園
京都国立博物館
国立民族学博物館
奈良国立文化財研究所飛鳥資料館
九州国立博物館誘致推進本部
北海道開拓の村
北海道開拓記念館
北海道立北方民族博物館
小樽市博物館
釧路市立博物館
苫小牧市博物館
上湧別町ふるさと館 J R Y
斜里町立知床博物館
市立函館博物館
根室市博物館開設準備室
上士幌町ひがし大雪博物館
穂別町立博物館
利尻町立博物館
青森県立郷土館
八戸市博物館
岩手県立博物館
北上市立鬼の館
大船渡市立博物館
仙台市博物館
仙台市科学館
仙台市歴史民俗資料館
宮城県慶長使節船ミュージアム
東北歴史資料館
地底の森ミュージアム
秋田県立博物館
秋田県立近代美術館
山形県立博物館
致道博物館
県立うきたむ風土記の丘考古資料館
山寺芭蕉記念館
福島県立博物館
三春町歴史民俗資料館
茨城県立歴史館
上浦市立博物館
日立市郷土博物館
上高津貝塚ふるさと歴史の広場
ミュージアムパーク茨城県自然博物館
栃木県立博物館
小山市立博物館
栃木県立なす風土記の丘資料館
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
群馬県立歴史博物館
群馬県立近代美術館
大間々町歴史民俗館 (コノンド館)
かみつけの里博物館
富岡市立美術館
群馬県立自然史博物館
浦和市立郷土博物館
浦和くらしの博物館民家園
埼玉県立博物館
埼玉県さきたま資料館
戸田市立郷土博物館
さいたま川の博物館
さいたま文学館
埼玉県立自然史博物館
千葉県立中央博物館
千葉県立美術館

跡見学園女子大学花隈記念資料館
我孫子市鳥の博物館
市立市川考古博物館
千葉市加曽利貝塚博物館
千葉県立現代産業科学館
君津市立久留里城址資料館
千葉県立大根博物館
千葉県立上総博物館
千葉県立安房博物館
千葉県立房総風土記の丘
千葉県立総南博物館
千葉県立房総のむら
陸沢町立歴史民俗資料館
衆議院憲政記念館
松壽美術館
足立区立郷土博物館
船橋区立郷土資料館
大田区立郷土博物館
紙の博物館
船の科学館
宮内庁三の丸尚蔵館
たばこ塩の博物館
次大夫堀公園民家園
東京都江戸東京博物館
世田谷区立郷土資料館
家具の博物館
通信総合博物館
豊島区立郷土資料館
府中市美術館開設準備室
三井文庫
北区飛鳥山博物館
港区立港郷土資料館
サントリイ美術館
江戸東京たてもの園
多摩六都科学館
調布市郷土博物館
八王子郷土資料館
府中市郷土の森博物館
東京都高尾自然科学博物館
福生市郷土資料館
J R A 競馬博物館
相模原市立博物館
神奈川県立近代美術館
シルク博物館
神奈川県立歴史博物館
神奈川県立金沢文庫
馬の博物館
横浜マリタイムミュージアム
横浜市歴史博物館
川崎市市民ミュージアム
神奈川県立生命の星・地球博物館
平塚市博物館
茅ヶ崎市文化資料館
鎌倉国宝館
横須賀市自然人文博物館
箱根町立大涌谷自然科学館
川崎市立日本民家園
松本市立博物館
日本民俗資料館
長野市立博物館
長野県立歴史館
飯田市美術博物館
飯田市上郷考古博物館
七田市立博物館
山と博物館
大町山岳博物館
須坂市立博物館
信濃町立野尻湖ナウマンソウ博物館
塩尻市立平出遺跡考古博物館
市立岡谷蚕糸博物館
市立岡谷美術考古館
むれ歴史ふれあい館

信州新町化石館
信州新町美術館
柏崎市立博物館
長岡市立科学博物館
相川郷土博物館
富山市笠牛人記念美術館
高岡市立博物館
富山市郷土博物館
富山市科学文化センター
魚津水族館
富山県立立山博物館
富山県中央植物園
富山市民俗芸村
松任市立博物館
立山カルデラ砂防博物館 (仮)
石川県立歴史博物館
石川県立美術館
石川県輪島漆芸美術館
小松市立博物館
松任市立中川一政記念美術館
のと海洋ふれあいセンター
石川県白山自然保護センター
福井市立若狭歴史民俗資料館
福井県立博物館
福井市自然史博物館
福井県立一乗朝倉氏遺跡資料館
敦賀市立博物館
静岡県立美術館
静岡県立登呂博物館
東海大学海洋科学博物館
上原仏教美術振興財団
久能山東照宮博物館
下田海中水族館
沼津歴史民俗資料館
沼津市明治史料館
富士市立博物館
浜松市博物館
浜松市美術館
浜松市楽器博物館
焼津市歴史民俗資料館
愛知県美術館
愛知県芸術文化センター
徳川美術館
熱田神宮宝物館
名古屋博物館
名古屋市立市政資料館
名古屋科学館
名古屋美術館
でんきの科学館
名古屋市見晴台考古資料館
一宮市博物館
博物館明治村
リトルワールド
瀬戸市歴史民俗資料館
日本モンキーセンター
愛知県陶磁資料館
豊田市郷土資料館
豊田市美術館
豊田市総合動植物公園
豊橋市美術館
豊橋市自然史博物館
豊橋市地下資料館
豊橋市二川宿本陣資料館
岡崎市教育委員会岡崎市郷土資料館
安城市歴史博物館
知立市歴史民俗資料館
半田市立博物館
尾西市歴史民俗資料館
碧南市青少年海の科学館
トヨタ博物館
名古屋ボストン美術館

名古屋市市政資料館
松坂屋美術館
蟹江町歴史民俗資料館
産業技術記念館
東海銀行貨幣資料館
鳳来町鳳来寺山自然科学博物館
愛知県清洲貝殻山貝塚資料館
真珠博物館・御木本幸吉記念館
三重県立博物館
御在所自然科学博物館・日本カモシカセンター
四日市市立博物館
桑名市博物館
海の博物館
鳥羽水族館
齋宮歴史博物館
藤原岳自然科学館
大津市歴史博物館
滋賀県立琵琶湖文化館
滋賀県立琵琶湖博物館
彦根城博物館
滋賀県立安土城考古博物館
滋賀県立陶芸の森
東歴史民俗博物館
裏千家センター茶道資料館
京都市考古資料館
博物館さがの人形の家
京都府立総合資料館
京都府立文化博物館
霊山歴史館
京都府立丹後郷土資料館
大阪市立博物館
大阪市立美術館
大阪市立科学館
大阪市立自然歴史博物館
大阪人権博物館
吹田市立博物館
大阪府立弥生文化博物館
堺市博物館
柏原市立歴史資料館
岸和田市立郷土資料館
大阪府立近つ飛鳥博物館
神戸市立博物館
神戸海洋博物館
神戸市立小磯記念美術館
兵庫県立歴史博物館
姫路市立水族館
西宮市大谷記念美術館
明石市文化博物館
尼崎歴史博物館準備室
兵庫県立人と自然の博物館
伊丹市立博物館
大和文華館
橿原市千塚資料館
県立橿原考古学研究所付属博物館
奈良県立民俗博物館
和歌山県立博物館
和歌山市立博物館
和歌山県立自然博物館
田部美術館
鳥取県立博物館
鳥取市博物館 (仮)
岡山県立博物館
岡山県立美術館
津山洋学資料館
津山科学教育博物館
倉敷市立自然史博物館
広島県交通科学館
広島市安佐動物公園
広島県立美術館
広島県立歴史博物館
日本はきもの博物館・郷土玩具博物館
広島県立歴史民俗資料館

新市町立歴史民俗資料館
巖島神社社務所
宮島町立宮島歴史民俗資料館
山口県立山口博物館
広島城
美祿市歴史民俗資料館
秋吉台科学博物館
下関市立考古博物館
徳島県立博物館
徳島市立徳島城博物館
高松市歴史資料館
香川歴史博物館建設準備室
香川県自然科学館
愛媛県立博物館
愛媛県総合科学博物館
愛媛県歴史文化博物館
高知市立自由民権記念館
高知市立歴史民俗資料館
福岡市立美術館
福岡県青少年科学館
福岡市総合図書館
福岡市博物館
芦屋町歴史民俗資料館
石橋美術館
北九州市立歴史博物館
北九州市立考古博物館
北九州市立自然史博物館
九州歴史資料館
佐賀県立博物館／美術館
佐賀県立名護屋城博物館
長崎県立美術館
長崎市立博物館
熊本市立熊本博物館
熊本県立美術館
熊本県立装飾古墳館
西合志町郷土資料館
八代市立博物館未来の森ミュージアム
宇佐風土記の丘民俗資料館
大分県立歴史博物館
大分県先哲史料館
宮崎県総合博物館
みやざき歴史文化館
椎葉民俗芸能博物館
鹿児島県立博物館
鹿児島市立美術館
鹿児島県歴史資料センター黎明館
ミュージアム知覧
沖縄県立博物館
名護博物館
岐阜県博物館
岐阜県歴史資料館
岐阜県美術館
岐阜県図書館
岐阜県陶磁資料館
岐阜市歴史博物館
岐阜市科学館
加藤栄三・東一記念館
大松美術館
かかみがはら航空宇宙博物館
各務原市歴史民俗資料館
内藤記念くすり博物館
森の文化博物館
大垣市歴史民俗資料館
タリピアセンター
美濃和紙の里会館
海洋町歴史民俗資料館
揖斐川町歴史民俗資料館
可見郷土資料館
瑞浪市化石博物館
上岐市美濃陶磁歴史館
中山道みたけ館
瑞浪市陶磁資料館
ミュージアム中仙道
中津川市鉱物博物館
合掌造り民家園

飛騨の山樵館
飛騨高山美術館
〔博物館協会〕
日本博物館協会
全国科学博物館協議会
全日本博物館学会
ハイビジョンミュージアム推進協議会
日本ミュージアム・マネジメント学会
東海地区科学施設協議会

〔役所関係〕
北海道中川町役場
青森県環境生活部県史編さん室
福島県児童文化センター
埼玉県自然保護課
いわき市教育文化事業団
千葉県文書館県史編さん室
総務庁青少年対策本部
文化庁書陵部
文部省大臣官房
宮内庁
東京都博物館協議会
日本財団
社会教育研修所
総理府男女共同参画室
科学技術広報財団
科学技術庁
東京都教育庁生涯学習部文化課
文化庁文化財保護部
日本科学技術振興財団
愛知県総務部文書課
通商産業省中部通商産業局
新潟県社会文化施設建設室
石川県商工労働部
西尾市
七尾市役所観光課
加賀市役所
名古屋営林支局
名古屋植物防疫所
木曾川下流工事事務所
木曾川上流工事事務所
日野町役場
滋賀・甲西町役場博物館開設準備室
滋賀・伊吹町公民館
京都市役所
岐阜県総務部
岐阜県企画部
岐阜県商工労働部
岐阜県農政部
岐阜県衛生環境部
岐阜県地方自治大学校
岐阜県保健環境研究所
岐阜県工業技術センター
岐阜県工芸試験場
岐阜県農業総合研究センター
岐阜県水産試験場
岐阜県国際センター
岐阜県広報センター
岐阜県生涯学習センター
岐阜県デザイン振興会
岐阜県研究開発財団
岐阜県ふれあい会館
花の都ぎふ推進センター
岐阜県産業文化振興事業団
岐阜県スポーツ振興事業団
岐阜県冷凍教育検査事務所
世界民俗文化センター
岐阜市文化センター
岐阜県産業経済研究センター
岐阜県保健環境研究所
岐阜県企画設計センター
岐阜県超古代文化研究会
武儀県事務所
武儀改良普及センター

高富町役場
藤橋村役場
可見市役所
山岡町役場
土岐口財産区事務所
平田町役場
関市役所
萩原町役場
土岐市役所
古川町役場
宮村役場
上宝村役場
川島町役場
大垣市立図書館
美濃市文化会館
関文化会館
岐阜簡易保険事務センター
ソフトピアジャパン
スイトピアセンター
各務原市市民会館
岐阜メモリアルセンター

〔教育委員会関係〕
北海道教育庁生涯学習部文化課
青森県教育委員会
東京教育庁
渋谷区教育委員会
調布市教育委員会
世田谷区教育委員会
町田市教育委員会
相模市教育委員会
厚木市教育委員会
三宅村教育委員会
藤沢市教育委員会
加賀市教育委員会
十日町市教育委員会
浜岡町教育委員会
浜松市教育委員会
長野市教育委員会
名古屋市教育委員会
春日井市教育委員会
豊橋市教育委員会
岡崎市教育委員会
西尾市教育委員会
神奈川県教育庁文化財保護課
岡谷市教育委員会
佐久市教育委員会
春日井市教育委員会
一宮市教育委員会
四日市市教育委員会
津市教育委員会
亀山市教育委員会
滋賀県教育委員会
山東町教育委員会
能登川町教育委員会
多度町教育委員会
近江町教育委員会
能登川町教育委員会
田辺町教育委員会
京田辺市教育委員会
泉佐野市教育委員会
大阪市教育委員会
三野町教育委員会
権原市教育委員会
能勢町教育委員会
尼崎市教育委員会
姫路市教育委員会
長船町教育委員会
徳島県教育委員会
福岡県教育委員会
甘木市教育委員会
長崎県教育庁
大分県立先哲史料館
三好町教育委員会
岐阜県教育委員会

岐阜市教育委員会
岐阜県教育センター
岐阜県情報処理教育センター
グリーンテクノセンター
岐阜県文化財保護センター
岐阜メモリアルセンター
岐阜県生涯学習センター
養老町教育委員会
高富町教育委員会
羽島郡四町教育委員会
各務原市教育委員会
真正町教育委員会
大垣市教育委員会
大野町教育委員会
根尾村教育委員会
板取村教育委員会
岐阜簡易保険事務センター
白鳥町教育委員会
大和町教育委員会
坂内町教育委員会
洞戸町教育委員会
本巣町教育委員会
白川町教育委員会
南濃町教育委員会
関市教育委員会
明宝村教育委員会
和良村教育委員会
美濃市教育委員会
美濃加茂市教育委員会
可見市教育委員会
多治見市教育委員会
中津川市教育委員会
恵那市教育委員会
明智町教育委員会
付知町教育委員会
福岡町教育委員会
久々野町教育委員会
上宝村教育委員会
国府町教育委員会
高山市教育委員会
宮川村教育委員会
丹生川町教育委員会
岐阜市少年自然の家
関ヶ原青少年自然の家
御嶽少年自然の家
岐阜県高等学校教育研究会
岐阜県小中学校長
岐阜教育会
岐阜県高等学校長協会
岐阜県PTA連合会

〔学校関係〕
秋田大学鉱山学部付属鉱業博物館
山形大学付属博物館
筑波大学歴史人類学系
筑波大学地球科学系
図書館情報大学付属図書館
川村学園女子大学図書館
東京大学史料編纂所
東京大学総合研究博物館
立教大学学芸員課程研究室
東京家政学院生活文化博物館
慶応義塾美学美術史研究室
国学院大学博物館学研究室
東京都立大学人文学部考古学研究室
国学院大学考古学資料館
東京農工大学附属繊維博物館
東京農業大学農業資料室
お茶の水女子大学学芸員課程
都立大学学芸員課程
日本大学文学部自然科学研究所
明治大学刑事博物館
明治大学考古学博物館
明治大学学芸員養成課程
学習院大学

東京大学地震研究所
早稲田大学文学部考古学研究室
多摩美術大学美術学部
実践女子大学博物館学研究室
実践美学美術史学会
法政大学文学部考古学研究所
武蔵野美術大学
東京家政学部生活文化博物館
国際基督教大学湯浅八郎記念館
神奈川大学日本常民文化研究所
東海大学校地内遺跡調査団
日本大学濃獣医学部資料館
日本大学生物資源科学部資料館
帝京大学山梨文化財研究所
金沢大学文学部考古学研究室
金沢美術工芸大学図書館
静岡大学理学部地球科学教室
東海大学海洋科学博物館
東海大学社会教育センター
名古屋女子大学
名古屋芸術大学美術学部
南山大学遺跡調査保存会
南山大学人類学博物館
名古屋大学古川総合研究資料館
名古屋大学文学部美学美術史研究室
名古屋大学大気水圏科学研究所
市邨学園大学人文学科研究会
日本福祉大学社会福祉総合研修センター
市邨学園地域社会研究会
市邨学園自然科学研究会
愛知大学総合郷土研究所
愛知大学文庫
愛知大学産業館
愛知大学博物館
名古屋造形芸術大学図書館
滋賀県立大学人間文化学部
同志社大学博物館学芸院課程
立命館大学国際平和ミュージアム
仏教大学総合研究所
仏教大学園部キャンパス開発室
京都大学総合博物館
京都工芸繊維大学美術工芸資料館
種智院大学
京都橘女子大学
関西大学博物館
大阪音楽大学付属楽器博物館
大阪大学文学部考古学研究室
近畿大学民俗学研究所
天理大学付属天理参考館
熊本大学理学部附属臨海実験所
九州産業大学芸術学会
別府大学附属博物館
岐阜第一女子高等学校
大垣北高等学校
可見高等学校
明智商業高等学校
加茂高等学校
岐阜大学教育学部
岐阜薬科大学
岐阜市立女子短期大学
東海女子大学
岐阜経済大学地域経済研究所
岐阜聖徳学園大学
岐阜聖徳学園大学短期学部
中京短期大学
中京女子短期大学
中部女子短期大学
大垣女子短期大学
岐阜医療技術短期大学
放送大学
自治大学

宮内庁正倉院事務所
奈良国立文化財研究所
奈良国立文化財研究所飛鳥資料館
アイヌ文化振興・研究推進機構
北海道アイヌ民族文化研究センター
北網圏北見文化センター
青森県埋蔵文化財調査センター
三内丸山遺跡対策室
東北電力
福島県工業技術振興財団
佐野ルネッサンス鑄金展実行委員会
あきた結び文化研究会
地質調査所
群馬・松井田町遺跡調査会
朝霞・下ノ原遺跡調査会
水影連盟
千葉県文化センター
科学技術館
国立教育会館社会教育研修所
東京国立文化財研究所
産業考古学会
全労済
民俗文化財研究協議会
河川環境管理財団
河川情報センター
リモート・センシング技術センター
全日本地域研究交流会
日本習字教育財団
日本水産資源保護協会
日本研究所
北青山遺跡調査会
板橋区四葉遺跡調査会
足立区伊興遺跡調査会
文化環境研究所
日本工学会
山武ハネウエル
日本ユネスコ協会連盟
日本昆虫協会
視聴教材センター
古文化財科学研究会
ポーラ文化研究所
味の素食文化センター
都立学校遺跡調査会
科学技術広報財団
溜池・駒込間遺跡調査会
日本芸術文化振興会
青少年交友協会
日本ナショナルトラスト
インドネシア・ニホン友好会
三貴
東京貝類同好会
地下鉄七号線白金工事事務所遺跡調査会
中整酢店
ハイビジョン・ミュージアム推進協議会
東レ科学振興会
I N X ギャラリー
練馬区遺跡調査会
センチュリーミュージアム
丹精総合研究所・文化空間研究所
マルチメディア振興センター
宇宙開発事業団
金属鉱業事業団資源情報センター
朝日新聞社出版局
安田生命クオリティオブライフ文化財団
アジア女性基金
ザ・ミュージアム
地域創造
西国分寺地区遺跡調査会
東京埋蔵文化財センター
町田木曾森野地区遺跡調査会
日野市落川遺跡調査会
落川・一の宮遺跡調査会
武蔵国分寺関連遺跡調査会
府中病院内遺跡調査会

御殿場遺跡調査会
社会教育研修所
衣生活研究所
神奈川県埋蔵文化財センター
玉川文化財研究所
神奈川県教育庁文化財保護課
川崎市立日本民家園
平岡環境科学研究所
横須賀市遺跡調査団
神奈川県立自然保護センター
神奈川県立自然保全研究会
松代藩文化施設管理事務所
長野県埋蔵文化財センター
富山県埋蔵文化財調査事務所
富山県埋蔵文化財センター
富山市ファミリーパーク公社
立山黒部観光
静岡県埋蔵文化財調査研究所
生物多様性センター
中部蜘蛛懇談会
つり同好会
犬山市文化資料館
愛知県文化振興事業団
中部産業活性化センター
中部建設協会
名古屋美術青年会
美術文化史研究会
行動と文化研究会
考古学フォーラム
瀬戸市埋蔵文化財センター
豊橋市埋蔵文化財調査事務所
愛知県埋蔵文化財センター
津市埋蔵文化財センター
四日市市遺跡調査会
青山町埋蔵文化財調査事務所
三重県大型化石発掘調査団
三重自然誌の会
三重動物学会
三重県埋蔵文化財センター
滋賀県埋蔵文化財協会
滋賀県埋蔵文化財センター
滋賀民俗学会
秀明文化財団
日本イヌワシ研究会
中信美術奨励基金
坂田郡社会教育学文化財部会
京都科学
京都服装文化研究財団
国民融合をめざす部落問題全国会議
古代学協会
千里国際情報事業財団
名神高速道路内遺跡調査会
国際日本文化研究センター
道修町文書保存会
日本生命財団
尼崎市立文化財収蔵庫
大阪府文化財調査研究センター
クボタ
のじぎく文化財保護研究財団
黒川古文化研究所
奈良県立同和問題関係史料センター
奈良国立文化財研究所
帝塚山考古学研究所
元興寺文化財研究所
シルクロード学術センター
島根県古代文化センター
岡山県自然保護センター
宮島町立宮島歴史民俗資料館
広島県歴史科学教育事業団
広島城
熊平制作所
巖島神社事務所
山口県貝類研究談話会
下関市立考古博物館
徳島県埋蔵文化財センター

福岡市埋蔵文化財センター
鹿児島県立埋蔵文化財センター
岐阜県文化財保護協会
中山道加納宿文化保存会
岐阜県超古代文化研究所
岐阜県ユネスコ協会
岐阜県情報センター
未来会館
岐阜コンベンション・ビューロー
長良川国際会議場
岐阜県歴史資料保存会
岐阜市教育文化振興事業団
岐阜史学会
岐阜県植物研究会
創価学会岐阜県広報部
慈齋研究会
各務原市埋蔵文化財調査センター
岐阜県昆虫同好会
養老文化財保護協会
垂井町文化財保護協会
東海地誌研究会
美濃民俗文化の会
靈山顕彰会岐阜県支部
地域経済研究所
岐阜県哺乳動物調査研究会
八幡町文化財保護協会
美濃文化財研究会
武儀農業改良普及センター
武儀福祉事務所
瑞浪市文化協会
多治見市文化財保護センター
土岐市埋蔵文化財センター
高山市歴史研究会
白川郷合掌造り民家園
合掌造り集落世界遺産記念事業実行委員会
NHK岐阜放送局
飛騨考古学会
芸術出版社
郷土出版社
美術倶楽部
遊美の会
日本美術刀剣新聞社
岩波書店
ぎょうせい
雄山閣出版
統群書館従完成会
東京美術
講談社
ココロ
美濃揖斐谷通信編集室
郡上史談会
書道心画院
北白川書房
西美濃わが街社
飛騨山王宮日枝神社
岐阜新聞社
金生山化石研究会

【個人】

宮崎 惇
千野素行
斎藤啓啓
清水昭男
乾 実
廣田照夫
上井有里
幸田寿男
西田 創

以上

【研究機関・出版社・その他】

東京国立文化財研究所
宮内庁書陵部

〔利用状況〕

1 入館者数

本年度は、入館者数65,648人で前年に比べて9,891人、17.7%の増加となった。これは、特別展「つのかぶとむし」「能面へのいざない」入館者の増加の影響による。

開館日数は306日であり、1日平均の入館者数は215人であった。また、1日の入館者が最も多かった日は、9月13日で1,478人を数えた。

月別入館者数は右表のとおりである。

団体入館者数をみると1,683人で、入館総数の約2.6%であった。月別では3月が306人で一番多く、団体入館者総数の18.2%を占めている。

夏季特別展及び秋季特別展期間中の入館者数は右表のとおりである。入館総数は36,546人を数え、1日平均は345人であった。

月	小中高生	大学生	一般	計	開館日数	一日平均
4	1,978	31	2,852	4,861	26	187
5	2,804	153	4,372	7,329	27	271
6	728	134	2,042	2,904	25	116
7	3,176	125	3,573	6,874	27	255
8	6,337	74	6,446	12,857	26	495
9	3,049	54	3,270	6,373	26	245
10	5,512	30	3,266	8,808	27	326
11	2,375	46	3,375	5,796	25	232
12	309	22	725	1,056	23	46
1	862	69	2,338	3,269	24	136
2	682	128	1,496	2,306	24	96
3	1,074	45	2,096	3,215	26	124
計	28,886	911	35,851	65,648	306	215

特別展名	期間	小中高生	大学生	一般	計
つのかぶとむし	7/14~9/15	11,565	156	11,709	23,430
能面へのいざない	9/29~11/15	7,270	61	5,785	13,116
計		18,835	217	17,494	36,546

2 施設利用

今年度の講堂及び研修室の利用者は、次のとおりであった。

〈講堂〉

5/16	岐阜県中学校技術・家庭科研究部会代議員会
5/24	岐阜野尻湖友の会総会
5/28	岐阜県小学校社会科研究部会代議員会
6/5	関蝶々会
6/10	岐阜県高等学校教育研究会公民地歴部会総会
9/7	岐阜県高等学校長協会常任理事会
9/11	岐阜県高等学校教育研究会教頭部会理事会
11/21	美濃市いきいきふれあい体験事業

〈研修室〉

5/23	多治見理科サークル研究会
5/23	岐阜県哺乳動物調査研究会総会
5/27	名古屋市長高等学校生物・地学研修会
5/31	岐阜県シダ植物研究会

〈研修室〉

6/4	関市小中学校教育研究会生活科部会研修
6/5	高富町教頭会研修
7/28	関市少年・少女科学教室
7/30	関市少年・少女科学教室
8/6	羽島市学校教育研究会理科部会研修
8/7	美濃地区小学校社会科研究会夏季セミナー
9/10	明宝村生涯学習講座
9/27	岐阜県シダ植物研究会
9/29	美濃地区高等学校教頭会研修会
10/14	多治見地区教務主任会管外研修会
11/7	岐阜県植物研究会
12/1	岐阜県教育メディア利用促進委員会
2/6	岐阜県高等学校教育研究会生物部会理事会

〈主な事業〉

5/11	役員会及び通常総会
6/2	第76回公開講座
6/9	機関紙委員会
6/18	第40回会員研修会
7/7~8	東海地区博物館連絡協議会総会
7/11	第77回公開講座
7/31	機関紙「岐阜の博物館」第122号発行
9/17~18	第41回会員研修会
10/4	第78回公開講座
10/28~29	東海三県博物館協会交流研修会
10/31	機関紙「岐阜の博物館」第123号発行
11/5~6	全国博物館大会
11/13	第42回会員研修会
12/28	機関紙「岐阜の博物館」第124号発行
2/13	第79回公開講座
2/13	公開講座委員会
2/17	会員研修委員会
3/8	常任理事会
3/31	機関紙「岐阜の博物館」第125号発行

〔博物館関係団体〕

1 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

公開講座（年4回）、機関紙発行（季刊）、会員研修会（年3回）等の諸活動をくり広げ、設立の目的に沿うように努力した。

平成10年3月現在、会員館員は137、個人会員は23名主な役員は次のとおり。

名誉会長…梶原拓 会長…浅野勇 副会長…青木允夫、土野守、高田晃 理事長…松本五三 事務局は岐阜県博物館内にある。

2 岐阜県博物館友の会

友の会設立16年目となった今年度は、一般会員596名、後援会員31口を数え、数年来、六百名前後の会員数が定着してきた感がある。

会員個々の生涯学習活動への旺盛な参加意欲は依然として強く、加えて岐阜県博物館を側面から支える友の会会員としての自覚も増大した。

事業や研修の内容もさらに充実し、密度の濃いものとなったことは参加者の増加や感想で裏付けることができた。

会員が熱望している主催事業の探訪の旅は、第6回海外探訪を「世界遺産の国マルタとルネッサンスの国イタリアを訪ねて」として行った。

マルタ（バレッタ・聖ヨハネ大聖堂、巨石神殿、騎士団の宮殿他）イタリア（ナポリ、ポンペイ遺跡他、フィレンツェ・アカデミア美術館、ウフィッツィ美術館他、シエナ、ローマ・コロッセオ、パルテオン、スペイン広場、サン・ピエトロ寺院、他、バチカン市国・バチカン宮殿他、）を見学し、主な施設では現地職員から解説を受ける機会を待ち、参加者一同大きな感銘を受け、マルタ島とイタリア各地の歴史、文化、芸術等々を深く研修することができた。

海外探訪の旅については、引き続き実施の要望が強いが平成11年度は今後の「海外探訪の旅」のあり方を研究する年とするため、実施を見送ることとした。



国内探訪の旅は、栃木（日光東照宮と益子焼）を1泊2日で、静岡・袋井（可睡斎、法多山、お茶の郷）を日帰りで行った。いずれも、日程の中に館職員などによる歴史的背景を含めた解説をとりいれて好評を得、定員を超える参加者のもと盛況な研修会となった。

第9回文化講演会は、進化生物研究所・湯浅浩史氏による「世界の不思議な植物」の講演を、また、特別講演会を、陶芸家・安藤日出武氏による「美を創る」の講演を当館ハイビジョンホールで実施した。参加者から多くの質問がでるなど、最後まで熱心に聴講した。

特別行事「七草がゆを食べよう」は、会員の手作り行事として定着しており、今回も300名を越す七草ファンが味よく炊きあがった「かゆ」を食べ、和気あいあいの中、1年の無病息災を祈った。終了後反省会を持った。

博物館事業の普及活動については、特別展の図録等の作成や需要のある図録の増刷を行ない、県広報センター、木曾三川公園、海津町歴史民族資料館等に販売を委託し、広く県民に購読を願った。

岐阜県博物館の運営に関する「5則」に示されている「博物館事業の普及、会員相互の教養と親睦」を深めることを目指した友の会の活動が「魅力ある博物館」「誰でも気軽に参加できる博物館」の健全な運営の一翼を担うことができるよう、創意工夫ある企画を進めたい。



平成10年度の主な事業、行事は次のとおりである。

- 1 会議
役員会 4月29日 友の会総会 4月29日
役員会 11月3日 三役会 1月20日
- 2 研修事業
(1) 探訪の旅
マルタ島とイタリアを訪ねて 5/16～5/25 55名
日光東照宮と益子焼を訪ねて 9/26～9/27 61名
可睡斎、法多山、お茶の郷を訪ねて 12/6 80名
(2) 文化講演会
「世界の不思議な植物ーギアナ高地・マダガスカルー」
11/9 200名
(3) 特別講演会
「美を創る」 3/14 40名
- 3 会報発行
第55号～58号 A4 6頁 各500部
- 4 資料など作成と頒布
(1) 特別展図録「能面へのいざないー白山山麓ー」1,000部
(2) 図録の増刷「美濃・飛騨の古代史発掘」 1,000部
(3) 岐阜県博物館総合案内などの頒布
- 5 その他
(1) 博物館との共催事業の実施
特別行事 「百年公園・博物館を写生しよう」
「恐竜ゼミナールG i f u」
「七草がゆを食べよう」
たのしい博物館「クイズで探検！博物館」
博物館講座 「古寺を訪ねて」
「歌舞伎ーその創生から現在までー」
博物館だより増刷 65号～67号 各500部
(2) 会員入館料の補助と寄贈
特別展、常設展入館料補助

Ⅳ 利用案内 (平成11年度)

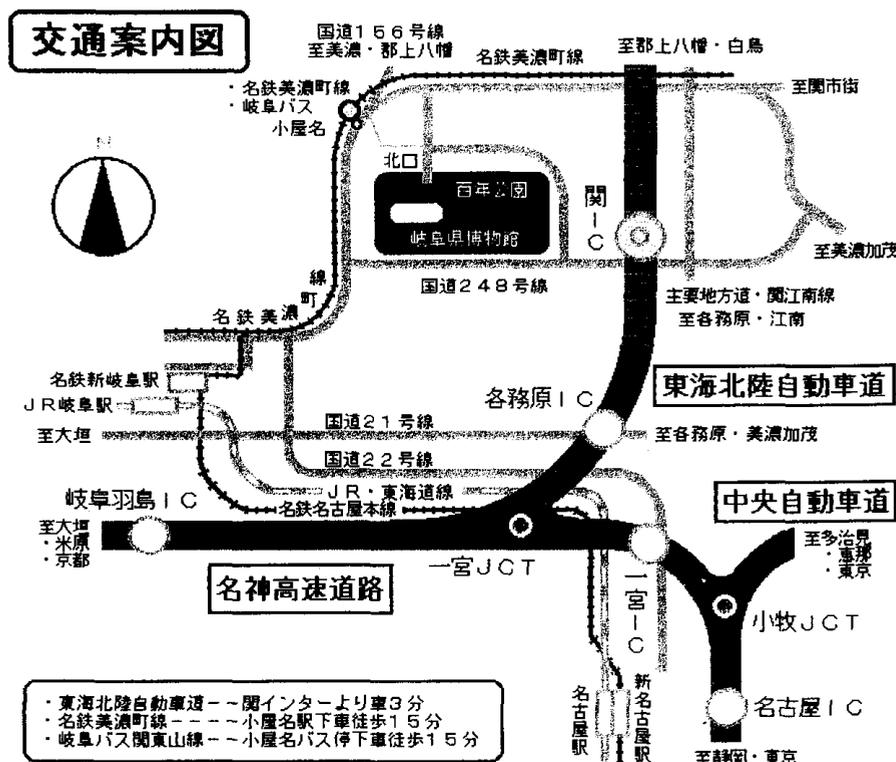
- 開館時間 4月1日～10月31日 9時～16時30分
11月1日～3月31日 9時30分～16時30分
(入館は16時まで)

- 入館料

区 分	個 人	団体 (20人以上)
一 般	320円	260円
大 学 生	110円	50円
小・中・高	無 料	無 料

※特別展開催中は入館料がかわります。

- 休館日 月曜日 (月曜日が祝日にあたる時は翌日)
年末年始 (12月27日～翌年1月4日)
- 駐車場 博物館には駐車場がありませんので、百年公園の駐車場をご利用ください。
駐車料金…普通 (軽) 自動車300円、バス820円
- 交 通 名鉄美濃町線 小屋名駅下車 徒歩約15分
岐阜バス 小屋名下車 徒歩約15分
自家用車をご利用の場合は、百年公園北口からお入り下さい。



〒501-3941 岐阜県関市小屋名字小洞1989 ☎(0575)28-3111(代表) FAX(0575)28-3110

岐阜県博物館報 第22号

編集発行

岐阜県博物館

平成11年(1999) 4月1日発行

印刷

株式会社 ダイキュー